

令和3年度
松山市 市民意識調査
報告書
(概要版)

令和4年3月



松山市

目次

I	調査概要	3
1.	調査目的	3
2.	調査項目	3
3.	調査対象	3
4.	調査方法	3
5.	調査期間	3
6.	回収結果	3
7.	集計方法	4
8.	注意事項	5
II	調査結果	6
1.	回答者について	6
(1)	性別	6
(2)	年齢	6
(3)	職業	7
(4)	居住地域	8
(5)	家族構成	9
(6)	居住年数	10
2.	松山市での暮らしについて	12
(1)	松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか	12
(2)	松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか	14
(3)	松山市は住みやすいまちか	16
(4)	松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか	18
(5)	松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくい	20
(6)	松山市に愛着や誇りを感じるか	22
(7)	今後も松山市に住み続けたいか	23
3.	マイナンバーカードについて	24
(1)	マイナンバーカードを利用できる場面を知っているか	24
(2)	マイナンバーカードの取得状況	24
(3)	マイナンバーカードの利用場面	25
(4)	マイナンバーカードを取得しない理由	25
4.	民生委員・児童委員について	26
(1)	「民生委員・児童委員」を知っているか	26
(2)	「民生委員・児童委員」に相談したことがあるか	27
(3)	「民生委員・児童委員」に相談する際のやりとりの方法	27
5.	SDGs(エスディーゼーズ)について	28
(1)	SDGsについて知っているか	28
(2)	SDGs達成に向けた日常の行動について	29

6. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について.....	30
(1)健康・福祉に関する施策.....	30
(2)安全・安心に関する施策.....	31
(3)産業・交流に関する施策.....	32
(4)教育・文化に関する施策.....	33
(5)環境・都市に関する施策.....	34
(6)自治・行政に関する施策.....	35
7. 施策の優先度について.....	36
(1)優先的に取り組むべき施策.....	36
(2)コロナ禍で優先度が高まったと思う施策.....	37
8. コロナ後を見据えた取り組みについて.....	39
Ⅲ 調査分析	40
1. 満足度・重要度	40
2. 施策の優先度について	43
3. 満足度、重要度及び優先度の関係	44

I 調査概要

1. 調査目的

第6次松山市総合計画に掲げた各施策に対する市民の満足度、重要度、優先度等を把握するため、市民に対して意識調査を実施し、計画的かつ効率的な進行管理を図るための基礎資料とする。

2. 調査項目

1. 回答者について
2. 松山市での暮らしについて
3. マイナンバーカードについて
4. 民生委員・児童委員について
5. SDGs（エスディージーズ）について
6. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について
7. 施策の優先度について
8. コロナ後を見据えた取り組みについて

3. 調査対象

2021年11月1日現在（無作為抽出）

- ①性別：男女計2,000人
- ②年齢：18歳以上の市民
- ③地域：松山市全域（集計・分析は公民館ブロックの地区ごと）

4. 調査方法

郵送調査

5. 調査期間

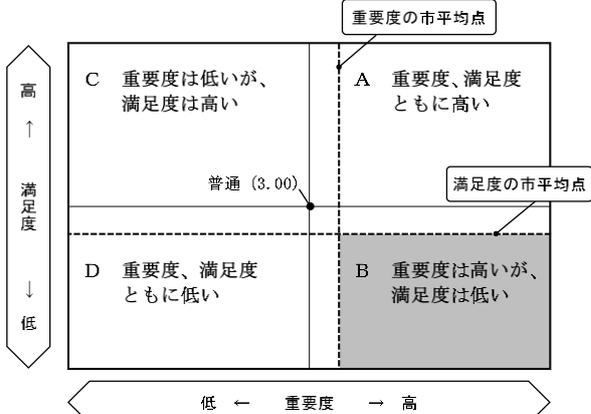
2021年12月6日～12月27日

6. 回収結果

発送件数	回収数	回収率
2,000	1,099	55.0%

7. 集計方法

項目	内容																	
性別集計	・ 男性、女性ごとに集計。																	
年齢別集計	・ 20歳代以下（18～29歳）、30歳代（30～39歳）、40歳代（40～49歳）、50歳代（50～59歳）、60歳代（60～69歳）、70歳以上の6区分で集計。																	
地域別集計	・ 41居住地を、8公民館ブロックに集約。																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック</th> <th>公民館区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1ブロック</td> <td>1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台</td> </tr> <tr> <td>第2ブロック</td> <td>5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荇原 10. 坂本</td> </tr> <tr> <td>第3ブロック</td> <td>11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原</td> </tr> <tr> <td>第4ブロック</td> <td>17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒</td> </tr> <tr> <td>第5ブロック</td> <td>21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生</td> </tr> <tr> <td>第6ブロック</td> <td>25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島</td> </tr> <tr> <td>第7ブロック</td> <td>31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝</td> </tr> <tr> <td>第8ブロック</td> <td>35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック	公民館区分	第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台	第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荇原 10. 坂本	第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原	第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒	第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生	第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島	第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝	第8ブロック
ブロック	公民館区分																	
第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台																	
第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荇原 10. 坂本																	
第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原																	
第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒																	
第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生																	
第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島																	
第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝																	
第8ブロック	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井																	

<p>満足度得点 重要度得点</p>	<p>・第6次松山市総合計画(後期基本計画)の施策ごとの評価。 選択肢1「不満、重要でない」から選択肢5「満足、重要」までに、それぞれ1点～5点を与え、加重平均を算出した。選択肢0「判断できない」と「無回答」のサンプルは集計対象から除外した。</p>
<p>優先度</p>	<p>・優先的に取り組むべき施策として選択された項目について集計した。</p>
<p>満足度、 重要度、 優先度の 関係</p>	<p>・施策の満足度、重要度を得点に基づき可視化するとともに、優先度が高い施策との相関を示した。</p> 

8. 注意事項

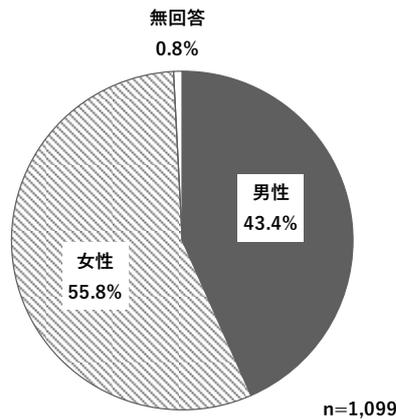
- 図表中の「n」(Number of samplesの略)は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数です。
- 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。そのため、個々の構成比の合計が100.0%にならない場合(99.9%、100.1%など)があります。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上あるため、合計は100%を超えることもあります。
- 各設問の集計は、無回答を含めて集計しています。
- Ⅲ 調査分析の満足度・重要度の得点については、小数点第3位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合があります。平均得点と得点差は、小数点第3位を四捨五入した値を基に分析しています。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者について

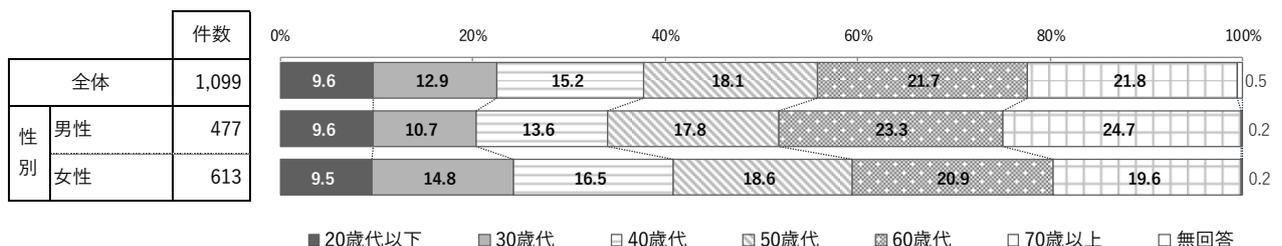
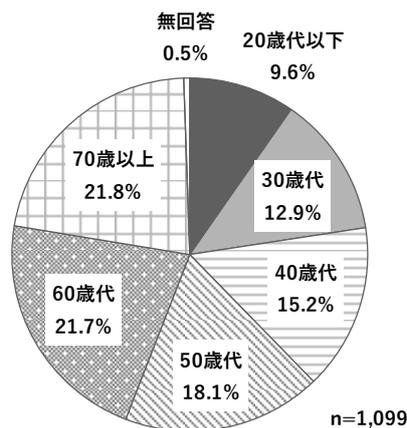
(1) 性別

- ・性別は、「男性」が43.4%、「女性」が55.8%であった。



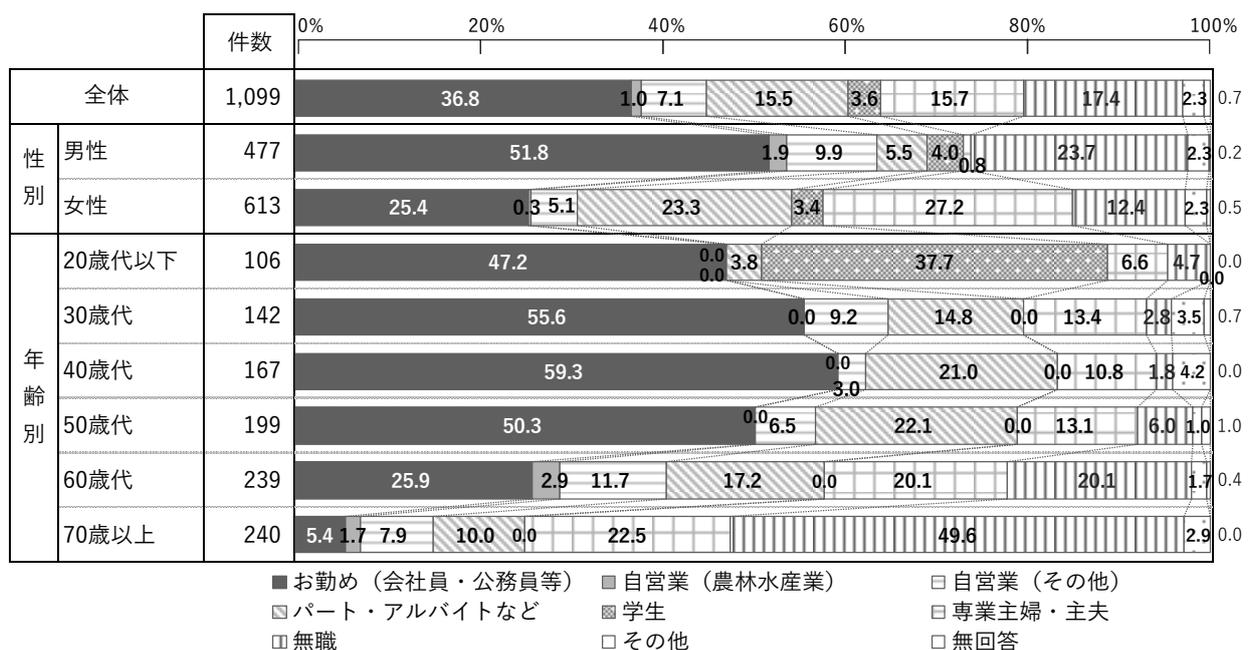
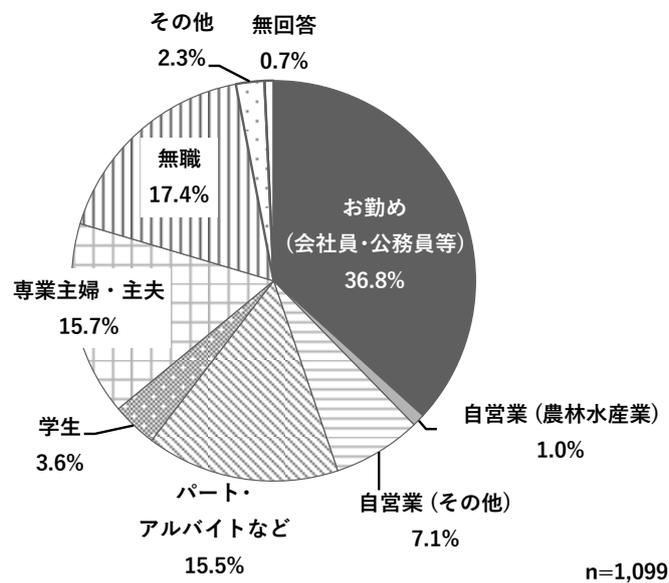
(2) 年齢

- ・年齢は、「70歳以上」が21.8%と最も高く、次いで「60歳代」21.7%、「50歳代」18.1%、「40歳代」15.2%、「30歳代」12.9%、「20歳代以下」9.6%であった。
- ・性別で見ると、男性では「70歳以上」が24.7%と最も高く、次いで「60歳代」23.3%、「50歳代」17.8%、「40歳代」13.6%、「30歳代」10.7%、「20歳代以下」9.6%であった。
女性では、「60歳代」が20.9%と最も多く、次いで「70歳以上」19.6%、「50歳代」18.6%、「40歳代」16.5%、「30歳代」14.8%、「20歳代以下」9.5%であった。



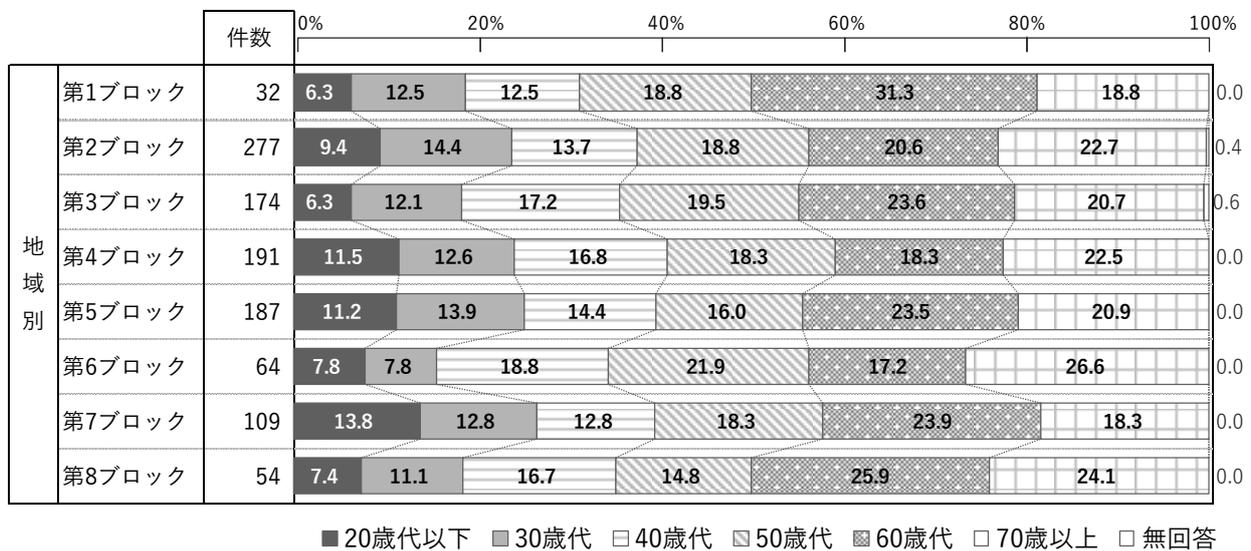
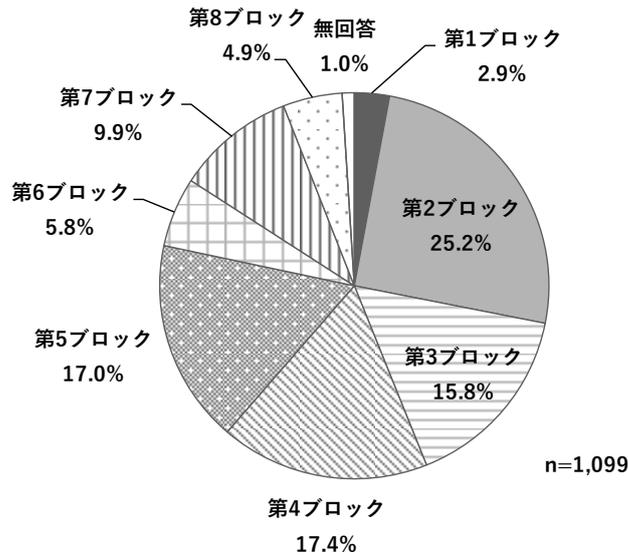
(3)職業

- ・職業は、「お勤め（会社員・公務員等）」が36.8%と最も高く、次いで「無職」17.4%、「専業主婦・主夫」15.7%、「パート・アルバイトなど」15.5%、「自営業（その他）」7.1%、「学生」3.6%、「その他」2.3%、「自営業（農林水産業）」1.0%であった。
- ・性別では、男性は「お勤め（会社員・公務員等）」が51.8%と最も高く、次いで「無職」23.7%、「自営業（その他）」9.9%と続いた。
女性では「専業主婦・主夫」が27.2%と最も高く、次いで「お勤め（会社員・公務員等）」25.4%、「パート・アルバイトなど」23.3%と続いた。
- ・年齢別では、60歳代以下の年代では「お勤め（会社員・公務員等）」が最も高く、これに次いで20歳代以下では「学生」、30歳代から60歳代では「パート・アルバイトなど」や「専業主婦・主夫」の割合が高くなっている（60歳代では「専業主婦・主夫」と「無職」が同率）。70歳以上では「無職」が最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が高くなっている。



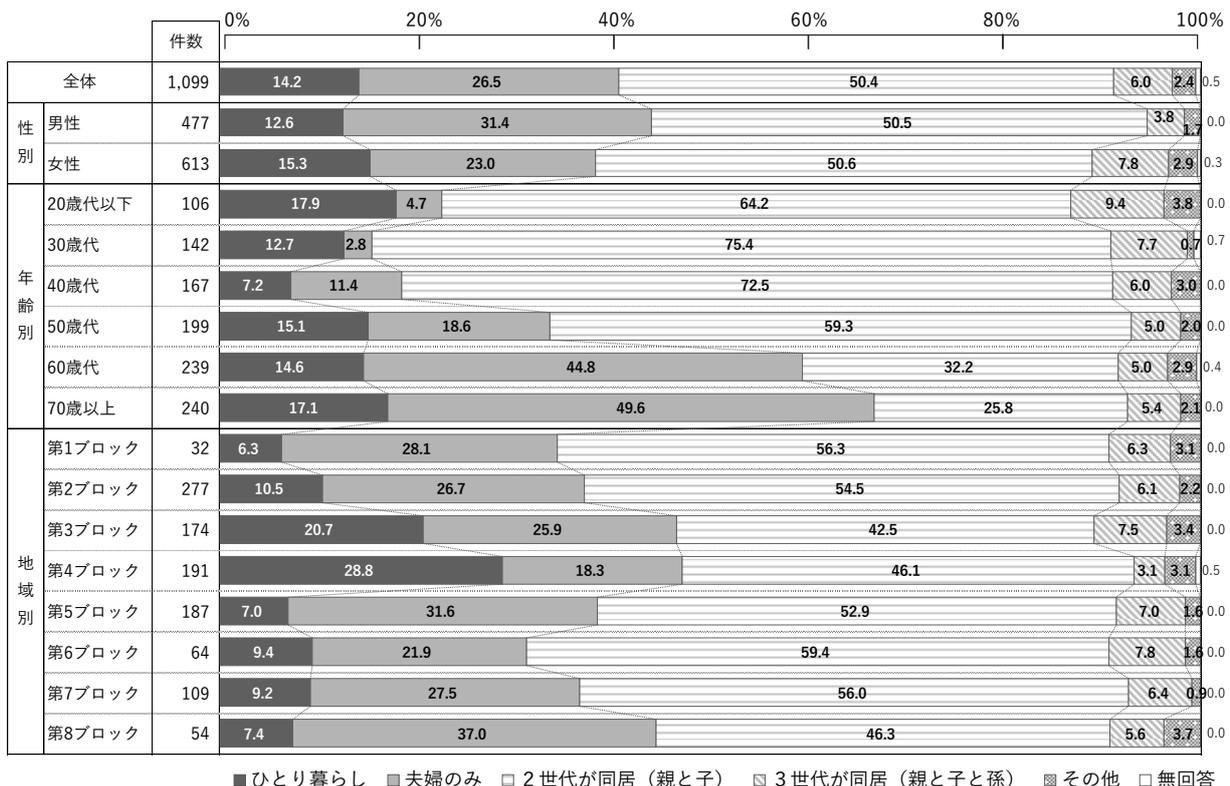
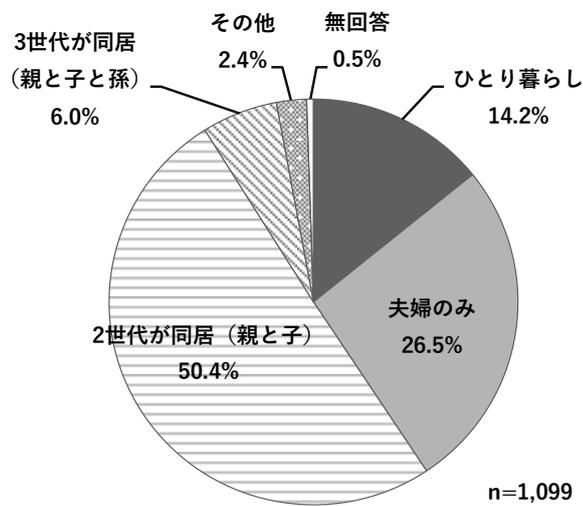
(4) 居住地域

- ・ 居住地域は、「第2ブロック」が25.2%と最も高く、次いで「第4ブロック」17.4%、「第5ブロック」17.0%、「第3ブロック」15.8%、「第7ブロック」9.9%、「第6ブロック」5.8%、「第8ブロック」4.9%、「第1ブロック」2.9%の順となった。
- ・ 年齢層で見ると、20歳代以下と30歳代の合計割合は、すべての地域で1割半ばから2割半ばとなっている。40歳代と50歳代の合計割合は、すべての地域で3割から4割程度となっている。60歳代と70歳以上の合計割合は、すべての地域で4割から5割程度となっている。



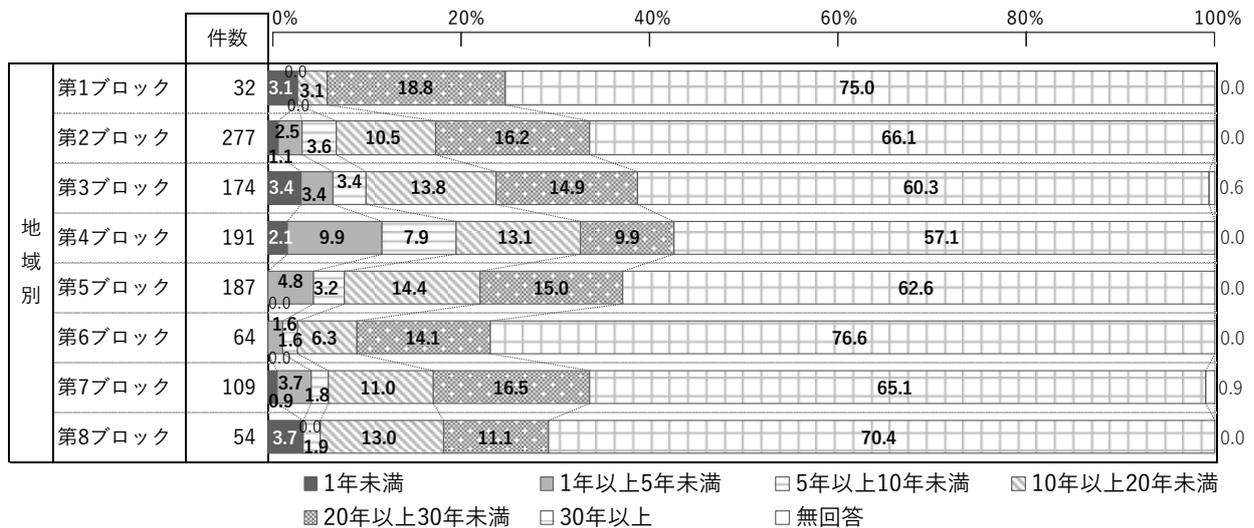
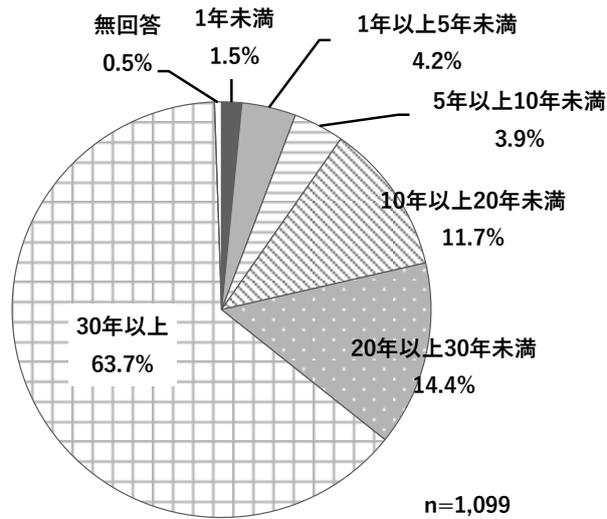
(5) 家族構成

- ・ 家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が50.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」26.5%、「ひとり暮らし」14.2%、「3世代が同居（親と子と孫）」6.0%と続いた。
- ・ 性別では、男女ともに「2世代が同居（親と子）」が最も高く、男性50.5%、女性50.6%となった。次いで「夫婦のみ」「ひとり暮らし」の順で続いた。
- ・ 年齢別では、50歳代以下の年代では「2世代が同居（親と子）」がいずれも5割以上を占め、次いで、30歳代以下では「ひとり暮らし」、40歳代と50歳代では「夫婦のみ」が続いた。60歳代と70歳以上では、「夫婦のみ」がそれぞれ44.8%、49.6%と最も高く、次いで「2世代が同居（親と子）」「ひとり暮らし」の順で続いた。
- ・ 地域別では、すべての地域で「2世代が同居（親と子）」が4割台から5割台と最も高く、次いで第4ブロックでは「ひとり暮らし」、その他の地域では「夫婦のみ」の順で続いた。



(6) 居住年数

- ・ 居住年数は、「30年以上」が63.7%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」14.4%、「10年以上20年未満」11.7%、「1年以上5年未満」4.2%、「5年以上10年未満」3.9%、「1年未満」1.5%の順で続いた。通算20年以上の居住者が78.1%と7割を超えている。
- ・ 地域別では、すべての地域で「30年以上」が5割を超えた。次いで、第4ブロックと第8ブロックを除き「20年以上30年未満」が続き、第8ブロックでは「10年以上20年未満」が続いた。第4ブロックでは、「10年以上20年未満」に続き「20年以上30年未満」と「1年以上5年未満」が同率となっており、比較的居住年数が浅い人の割合が高くなっている。第1ブロックと第6ブロックでは、通算20年以上の居住者が9割程度にのぼっている。

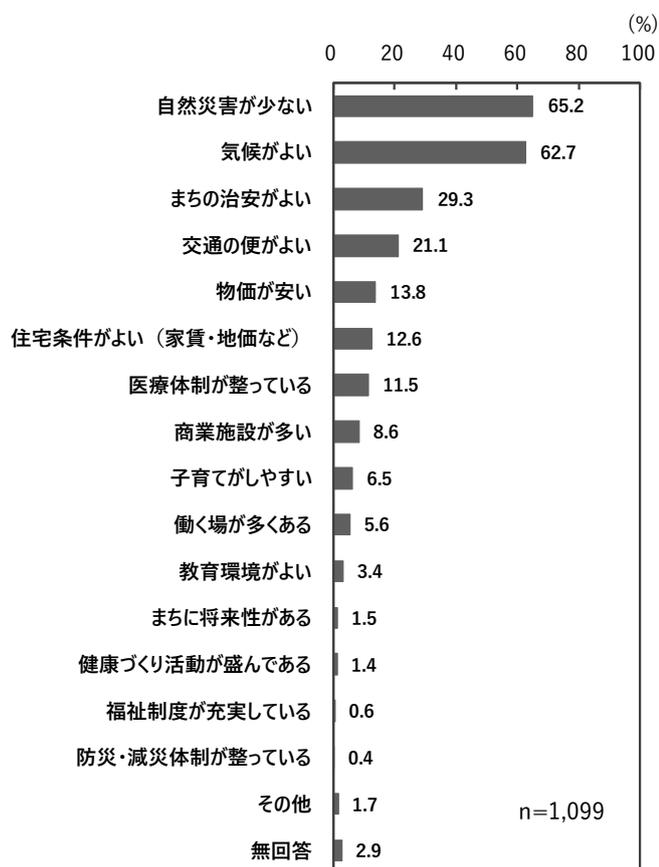


2. 松山市での暮らしについて

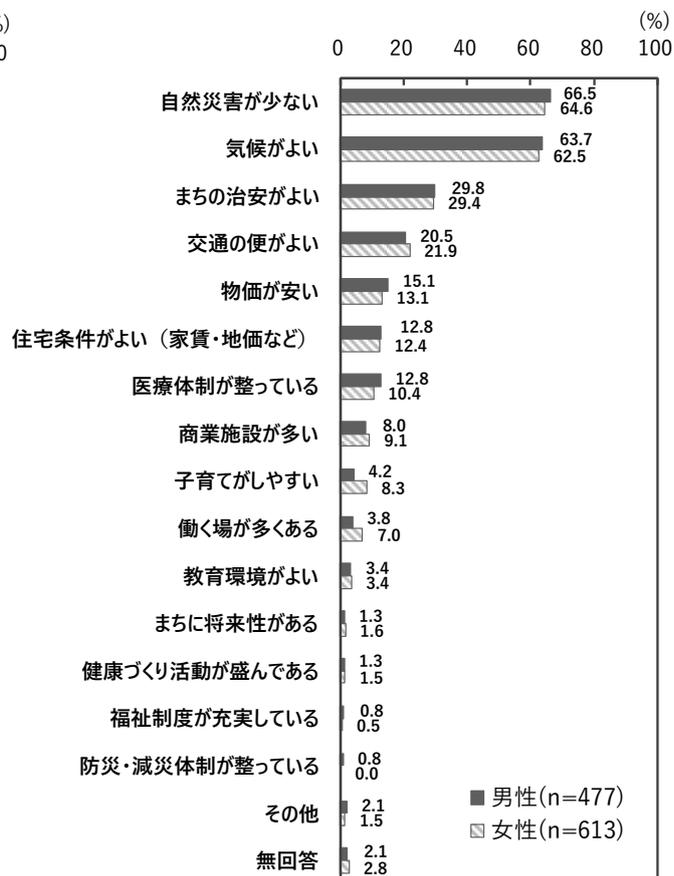
(1)松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか

- ・ 全体結果では、「自然災害が少ない」(65.2%)と「気候がよい」(62.7%)が特に高く、「まちの治安がよい」(29.3%)、「交通の便がよい」(21.1%)と続いた。
- ・ 性別では、男女ともに「自然災害が少ない」「気候がよい」が6割を超えており、この2項目が特に高く、全体結果と同様、「まちの治安がよい」「交通の便がよい」と続いた。
女性「子育てがしやすい」が8.3%で、男性と比べて4.1ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別では、60歳代以上では「自然災害が少ない」が最も高く、「気候がよい」と続いた。50歳代以下では「気候がよい」が最も高く、「自然災害が少ない」と続いた。
- ・ 地域別では、第2ブロックから第5ブロック、第7ブロックで「自然災害が少ない」が最も高く、次いで「気候がよい」と続いている。第1ブロック、第6ブロック、第8ブロックでは「気候がよい」が最も高く、「自然災害が少ない」が続いている。3位は、第4ブロックを除くすべての地域で「まちの治安がよい」となっており、第4ブロックでは「交通の便がよい」となっている。

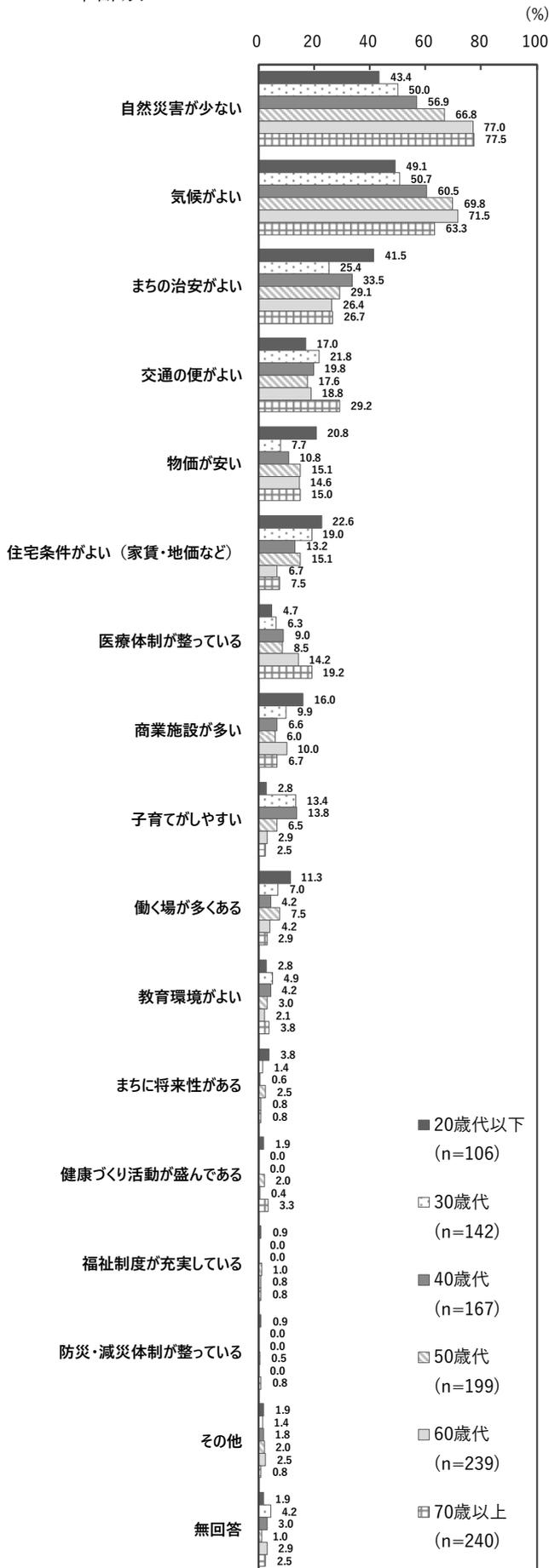
<全体>



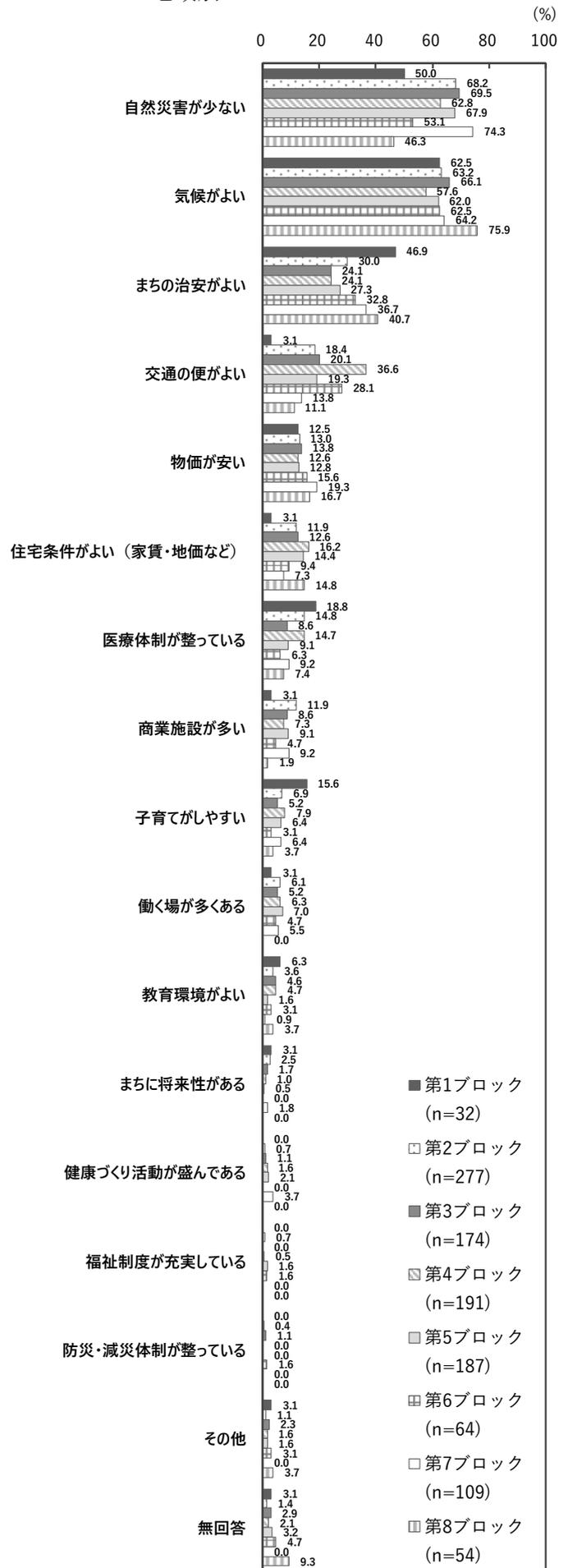
<性別>



<年齢別>



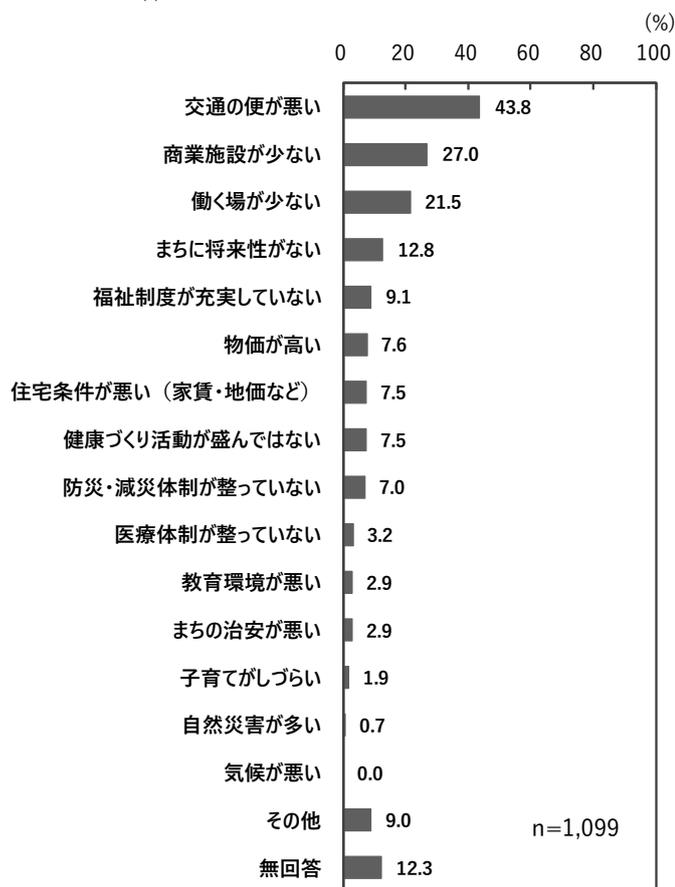
<地域別>



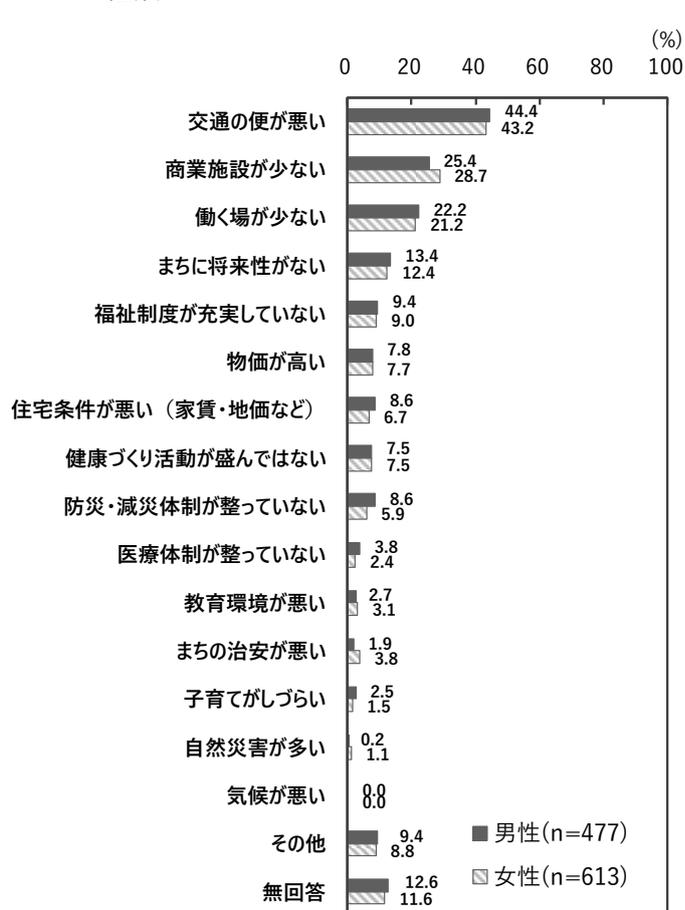
(2)松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか

- ・全体結果では、「交通の便が悪い」(43.8%)が最も高く、次いで「商業施設が少ない」(27.0%)、「働く場が少ない」(21.5%)、「まちに将来性がない」(12.8%)、「福祉制度が充実していない」(9.1%)と続いた。
- ・性別では、男女ともに「交通の便が悪い」が最も高く、全体結果と同様、「商業施設が少ない」「働く場が少ない」「まちに将来性がない」の順で続いた。女性は「商業施設が少ない」が28.7%で、男性と比べて3.3ポイント上回った。
- ・年齢別では、すべての年代で「交通の便が悪い」が最も高く、特に20歳代以下と40歳代では50%を超えた。次いで、50歳代以下では「商業施設が少ない」「働く場が少ない」の順で続き、60歳代以上では「働く場が少ない」「商業施設が少ない」の順で続いた。
- ・地域別では、すべての地域で「交通の便が悪い」が最も高く、第1ブロック、第2ブロック、第7ブロック、第8ブロックでは5割を超えている。次いで、第1ブロックと第4ブロックを除いたすべての地域で「商業施設が少ない」「働く場が少ない」の順で続き、第1ブロックでは「商業施設が少ない」「まちに将来性がない」「福祉制度が充実していない」が同率となっている。第4ブロックでは「働く場が少ない」「商業施設が少ない」の順で続いた。

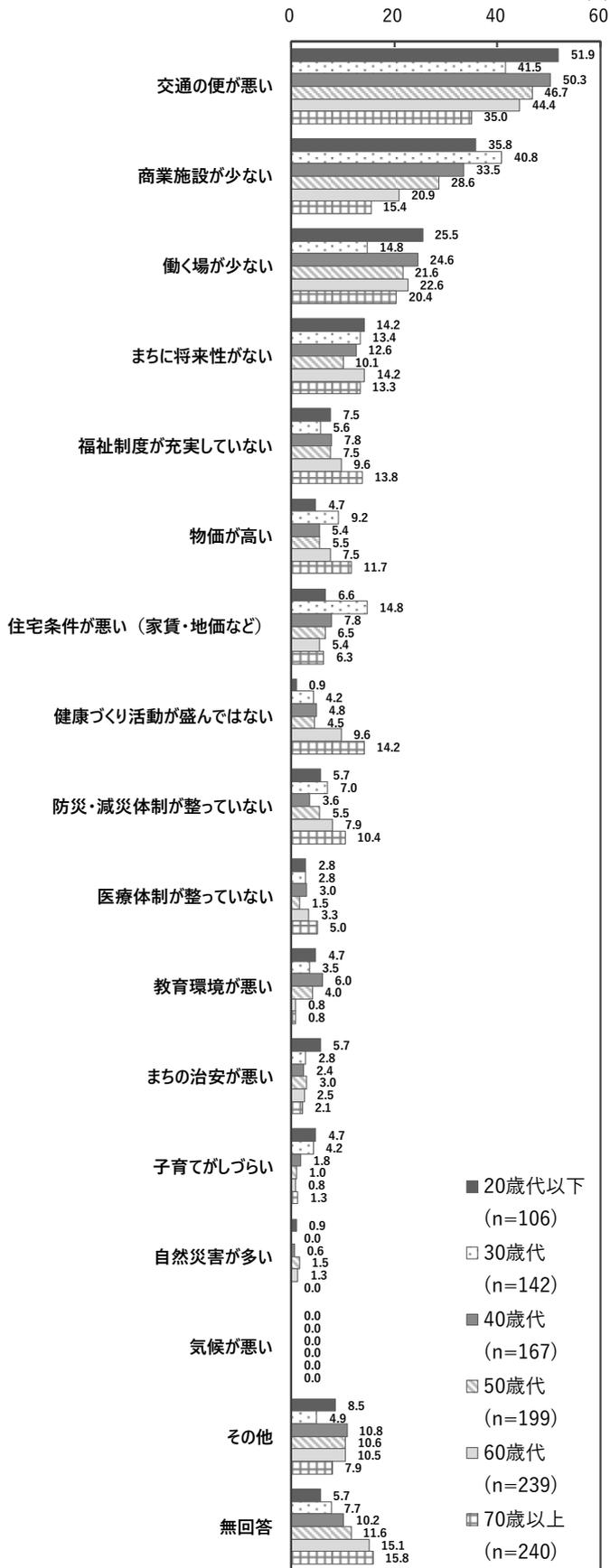
<全体>



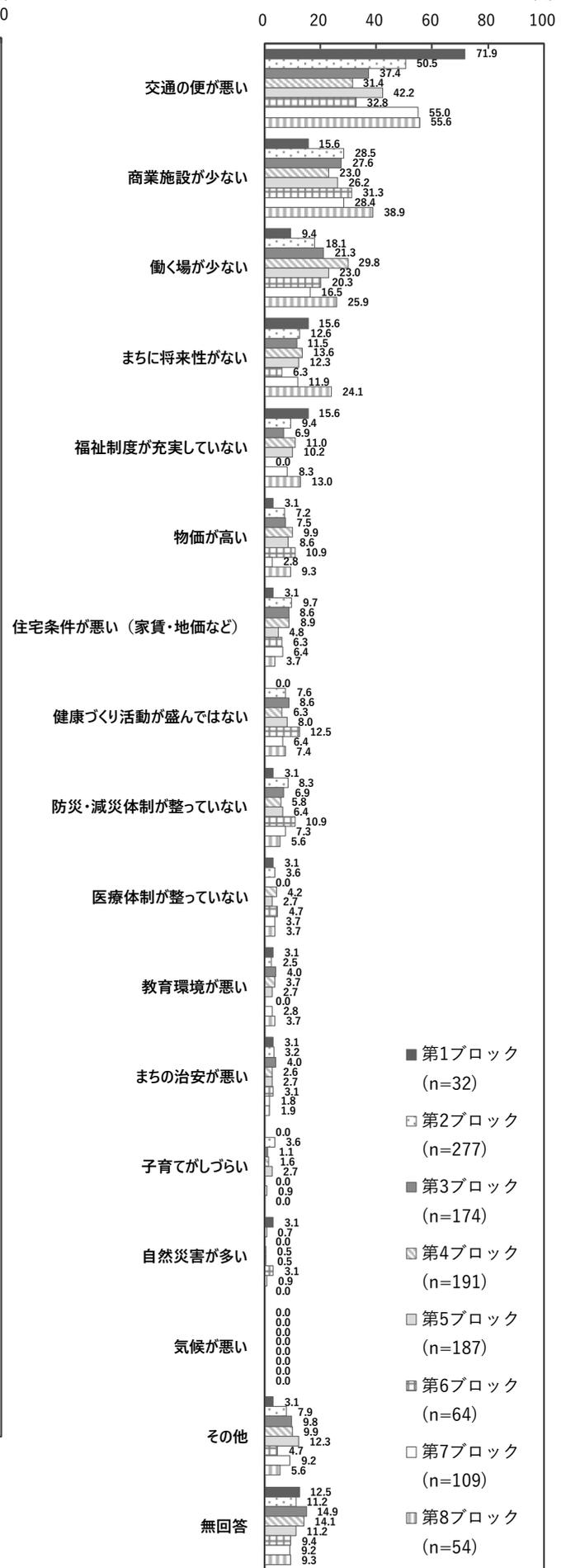
<性別>



<年齢別>

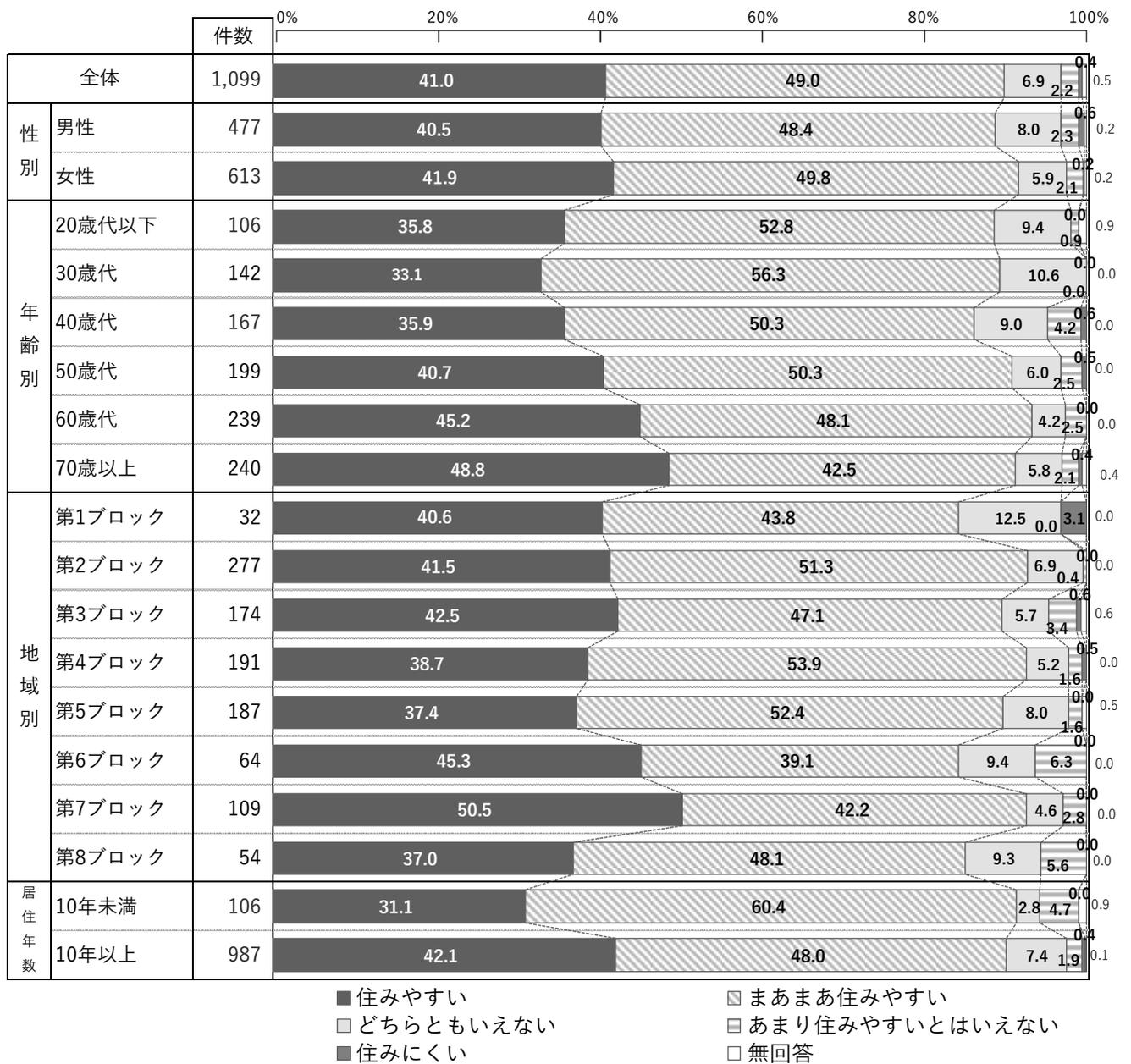


<地域別>



(3)松山市は住みやすいまちか

- ・全体結果では、「まあまあ住みやすい」が49.0%と最も高く、次いで「住みやすい」が41.0%と続き、合わせて大半の90.0%が『住みやすい』と感じている。
- ・性別では、『住みやすい』は男性88.9%、女性91.7%で、ともに9割程度を占めている。
- ・年齢別では、すべての年代で『住みやすい』が8割を超え、50歳代以上では9割を超えている。また、唯一70歳以上では「住みやすい」が「まあまあ住みやすい」を6.3ポイント上回っている。
- ・地域別では、すべての地域で『住みやすい』が8割を超え、第2ブロック、第4ブロック、第7ブロックでは9割を超えている。第1ブロック、第3ブロック、第4ブロック以外の地域では、「住みにくい」と回答した人はいなかった。



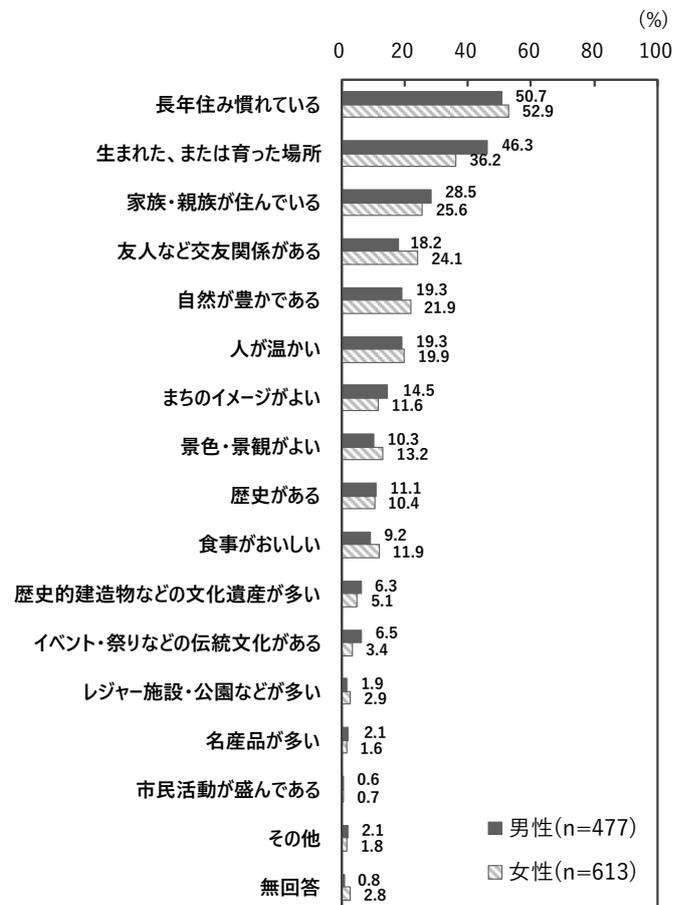
(4)松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか

- ・全体結果では、「長年住み慣れている」(51.6%)が最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」(40.6%)、「家族・親族が住んでいる」(26.9%)、「友人など交友関係がある」(21.5%)、「自然が豊かである」(20.6%)と続いた。
- ・性別では、男女ともに「長年住み慣れている」が5割を超え最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」「家族・親族が住んでいる」と続いた。男性の「生まれた、または育った場所」は46.3%で、女性の回答(36.2%)を10.1ポイント上回っている。
- ・年齢別では、40歳代以下では「生まれた、または育った場所」が最も高く、次いで「長年住み慣れている」「家族・親族が住んでいる」と続いた。50歳代以上では「長年住み慣れている」が最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」となり、50歳代では「家族・親族が住んでいる」、60歳代では「家族・親族が住んでいる」と「自然が豊かである」が同率、70歳以上では「人が温かい」の順で続いた。
- ・地域別では、すべての地域で「長年住み慣れている」が最も高く(第1ブロックは「自然が豊かである」が同率)、次いで「生まれた、または育った場所」と続いた。第1ブロック、第5ブロック、第8ブロックを除いた地域では、「家族・親族が住んでいる」と続き(第3ブロックは「友人など交友関係がある」が同率)、第1ブロックでは「友人など交友関係がある」と「人が温かい」が同率、第5ブロックでは「友人など交友関係がある」、第8ブロックでは「自然が豊かである」と続いた。

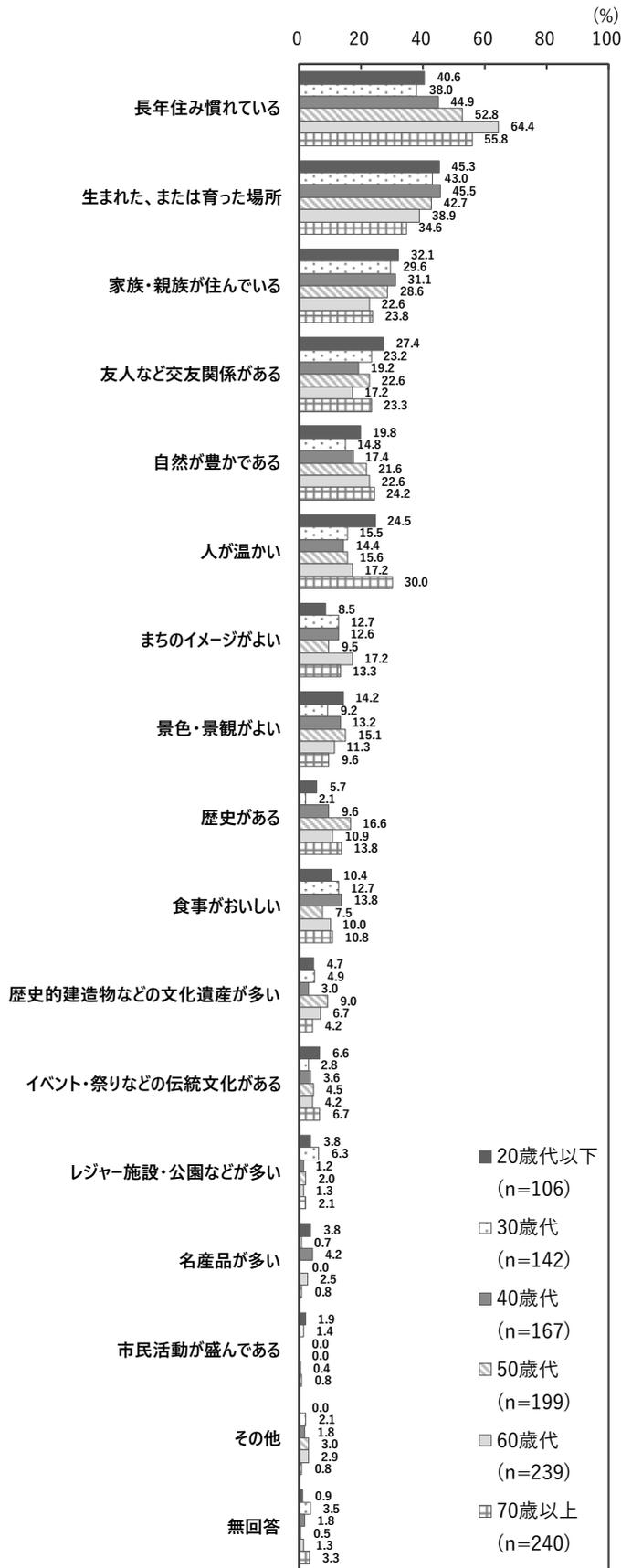
<全体>



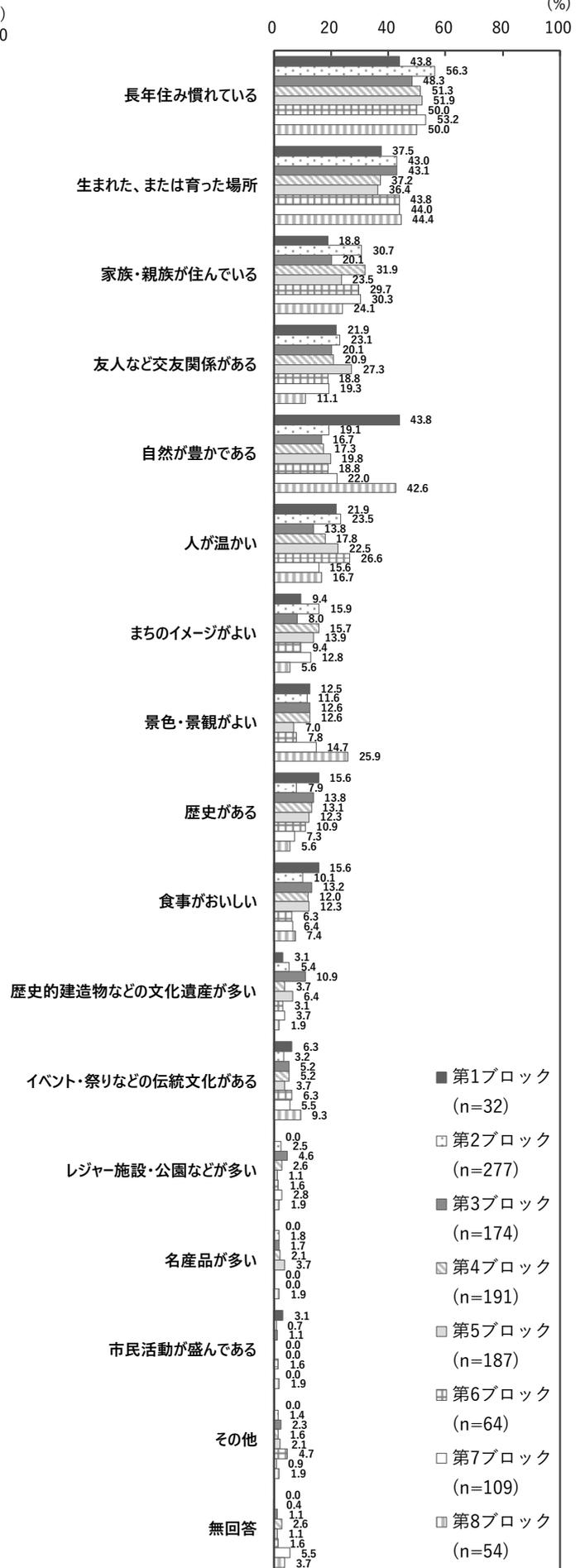
<性別>



<年齢別>



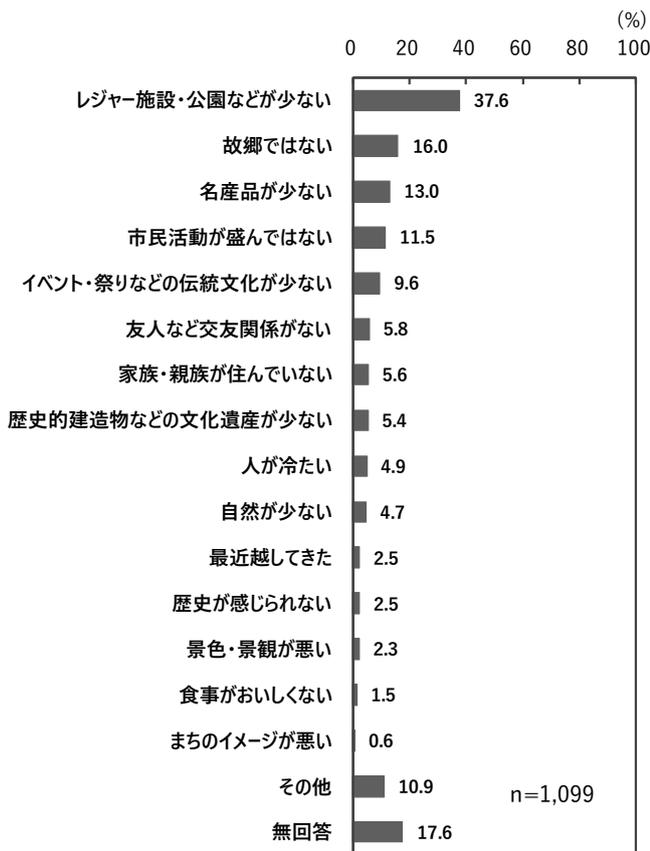
<地域別>



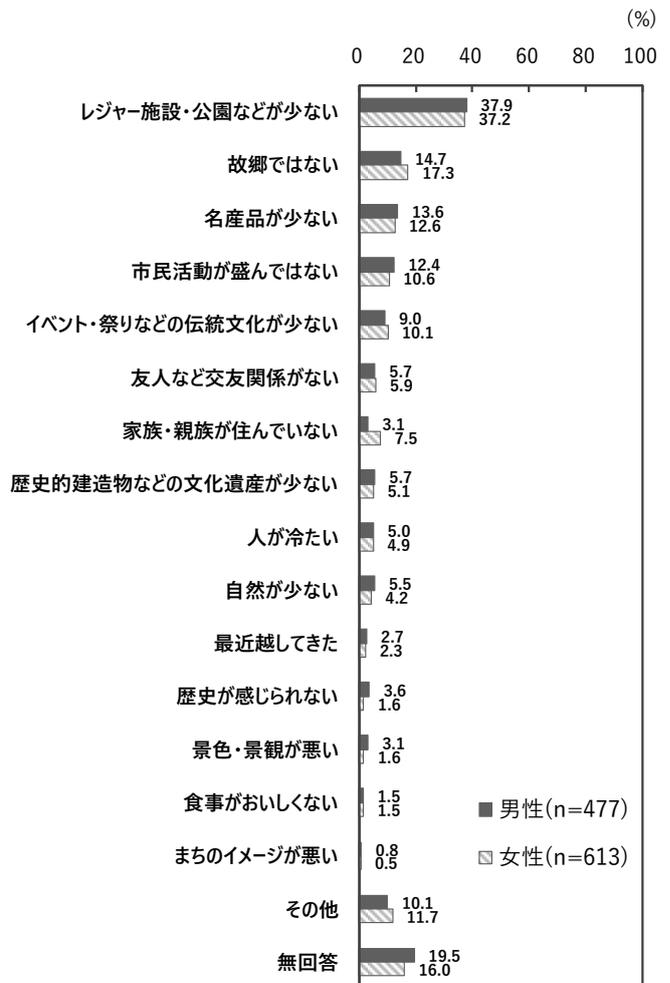
(5)松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくいのか

- ・全体結果では、「レジャー施設・公園などが少ない」(37.6%)が4割程度と最も高い。次いで、「故郷ではない」(16.0%)、「名産品が少ない」(13.0%)、「市民活動が盛んではない」(11.5%)、「イベント・祭りなどの伝統文化が少ない」(9.6%)と続いた。
- ・性別では、男女ともに「レジャー施設・公園などが少ない」が4割程度と最も高く、次いで「故郷ではない」「名産品が少ない」と続いた。
- ・年齢別では、すべての年代で「レジャー施設・公園などが少ない」が最も高く、20歳代以下と40歳代では4割を超えている。次いで、70歳以上では「故郷ではない」「市民活動が盛んではない」、60歳代では「市民活動が盛んではない」「故郷ではない」がそれぞれ続いた。20歳代以下では「故郷ではない」「名産品が少ない」「市民活動が盛んではない」が同率で続き、30歳代から50歳代では「故郷ではない」「名産品が少ない」の順に続いた。
- ・地域別では、すべての地域で「レジャー施設・公園などが少ない」が最も高く、第2ブロックと第5ブロックでは4割を超えている。次いで、第1ブロックと第2ブロックでは「市民活動が盛んではない」が、第3ブロックから第6ブロックまでは「故郷ではない」が、第7ブロックと第8ブロックでは「名産品が少ない」が続いた。

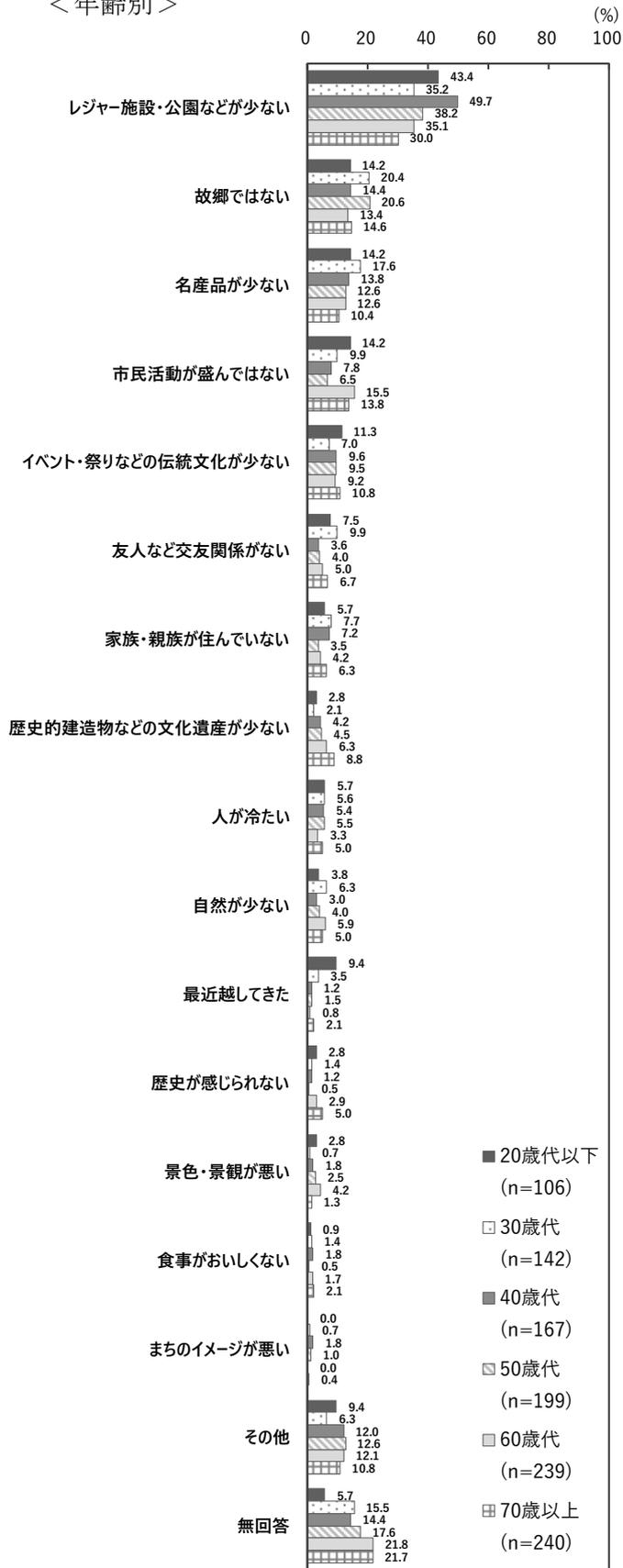
<全体>



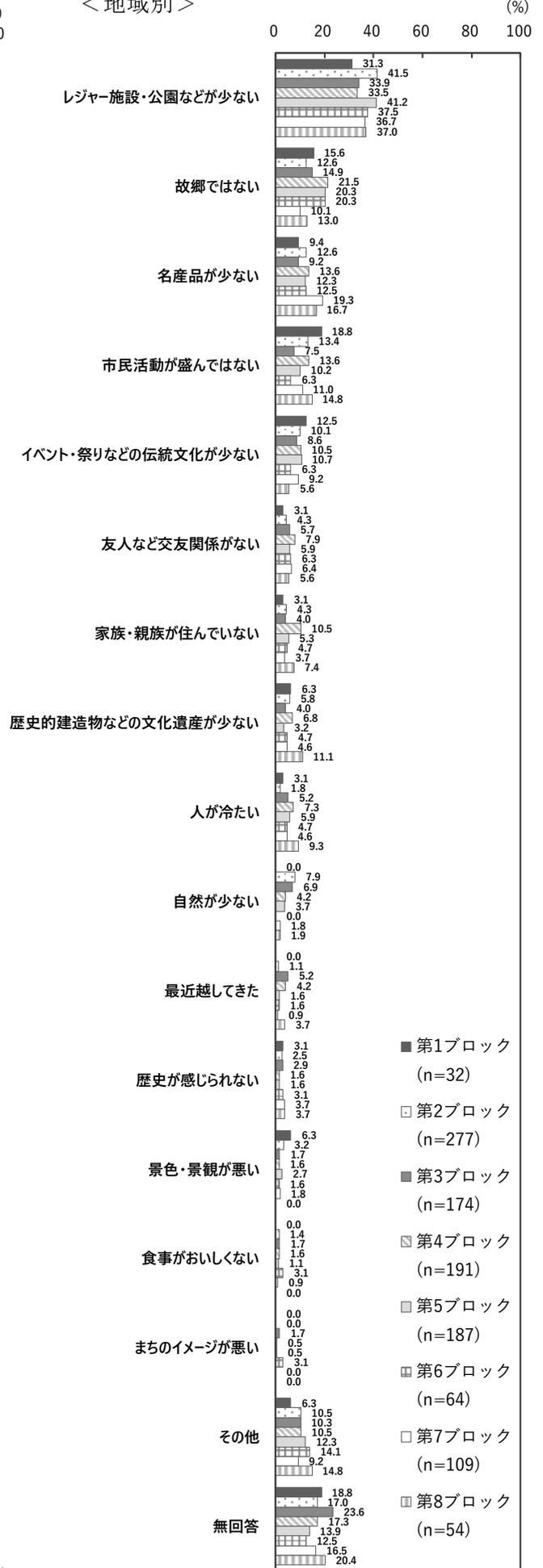
<性別>



<年齢別>

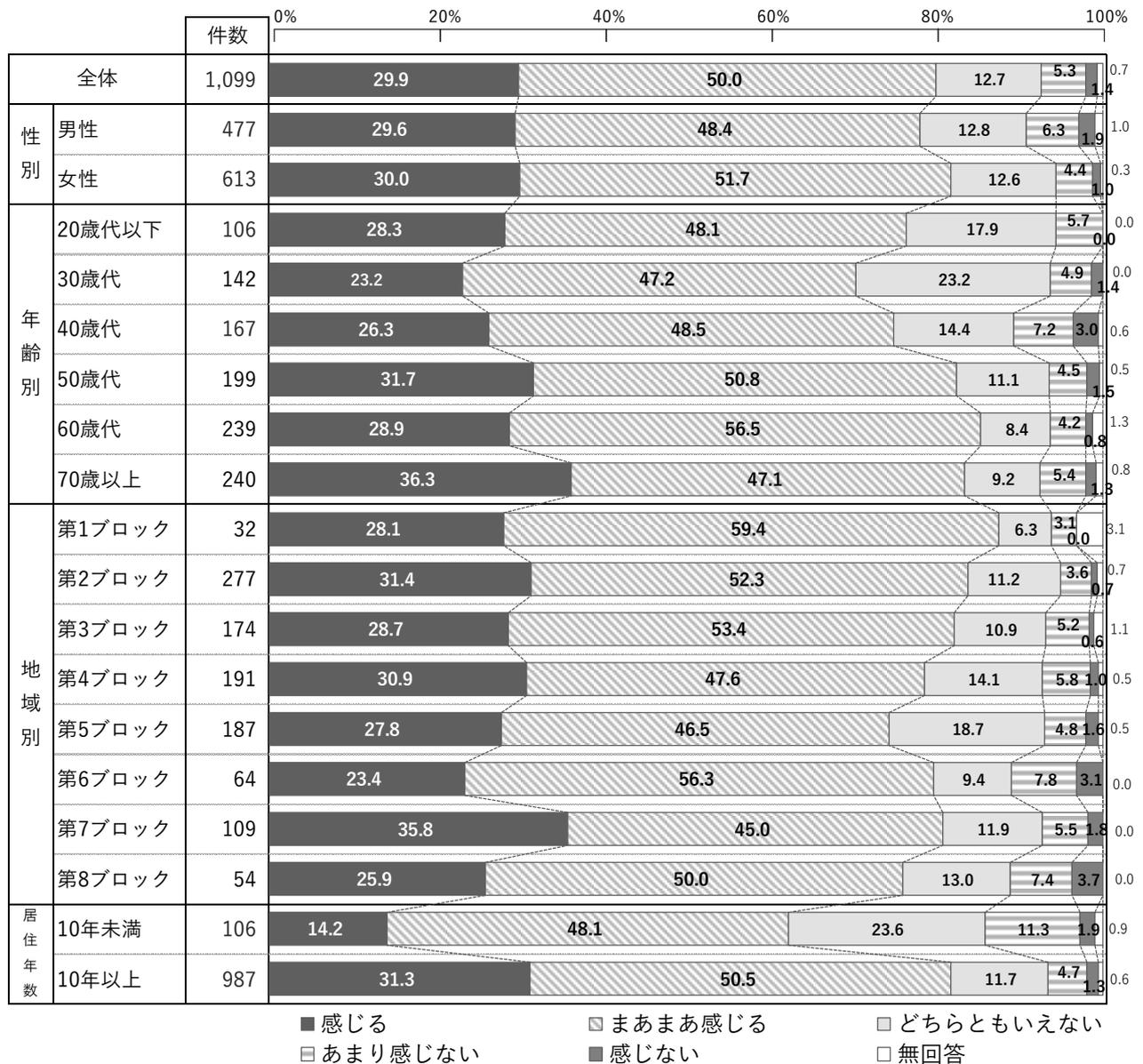


<地域別>



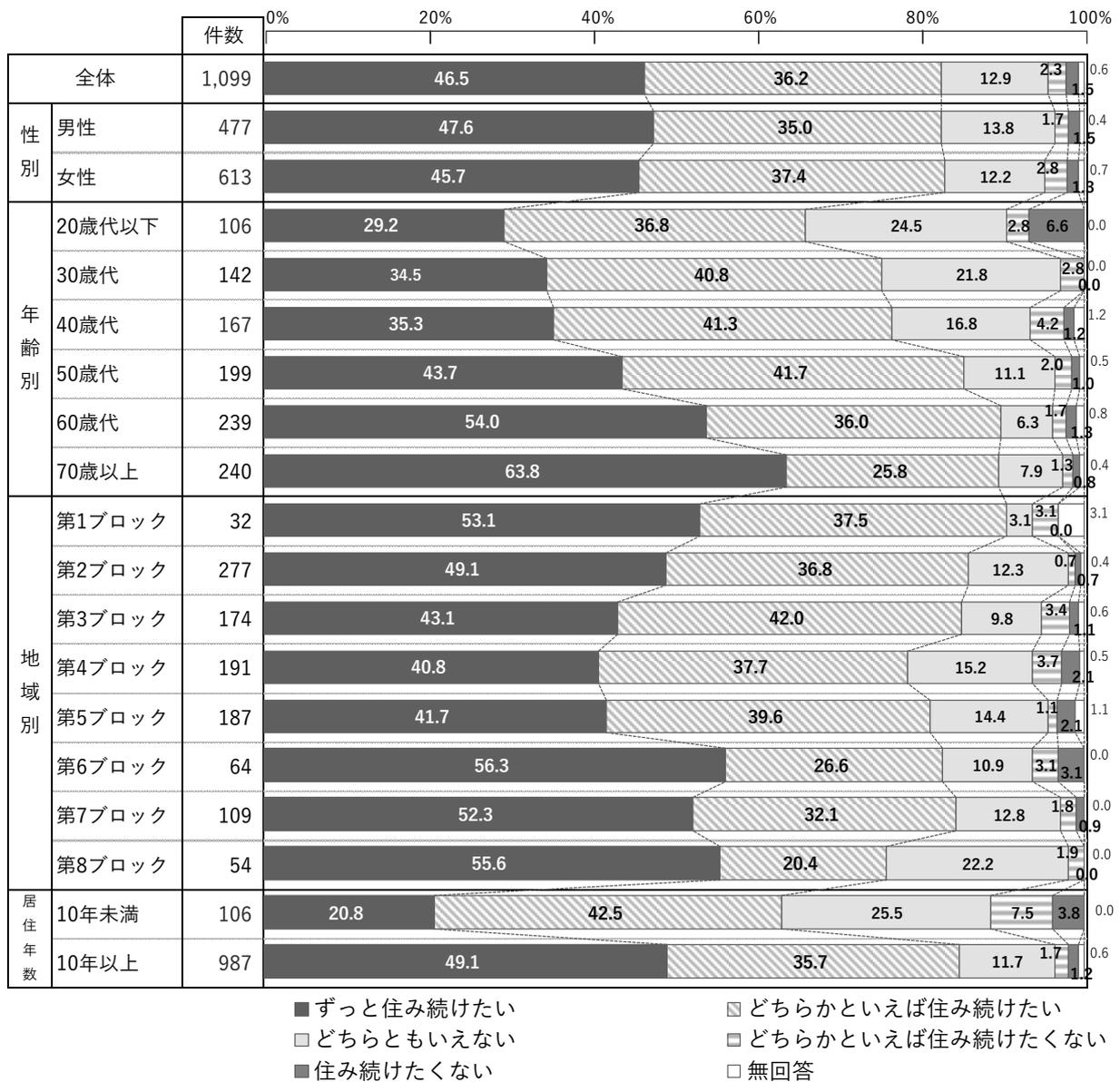
(6)松山市に愛着や誇りを感じるか

- ・全体結果では、「まあまあ感じる」が50.0%と5割を占め、次いで「感じる」が29.9%、合わせて79.9%が『感じる』と回答している。「どちらともいえない」は12.7%だった。「あまり感じない」は5.3%、「感じない」は1.4%で、合わせて6.7%が『感じない』と回答した。
- ・性別では、『感じる』は男性78.0%、女性81.7%で、ともに8割程度となっている。
- ・年齢別では、すべての年代で『感じる』が7割を超え、50歳代以上では8割を超えている。
- ・地域別では、すべての地域で『感じる』が7割を超え、第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第7ブロックでは8割を超えている。



(7) 今後も松山市に住み続けたいか

- ・全体結果では、「ずっと住み続けたい」が46.5%と5割程度を占め、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が36.2%と続き、合わせて82.7%が『住み続けたい』と回答している。
- ・性別では、『住み続けたい』は男性82.6%、女性83.1%で、ともに8割を超えている。
- ・年齢別では、30歳代以上で『住み続けたい』は7割を超え、特に60歳代以上では9割程度を占めている。一方、20歳代以下では『住み続けたい』は66.0%で、「どちらともいえない」が24.5%と他の年代に比べて高くなっている。
- ・地域別では、すべての地域で「ずっと住み続けたい」が最も高く、次いで、第8ブロックを除く地域で「どちらかといえば住み続けたい」が続いた。第8ブロックは「どちらともいえない」が22.2%と、他の地域に比べて高くなっている。

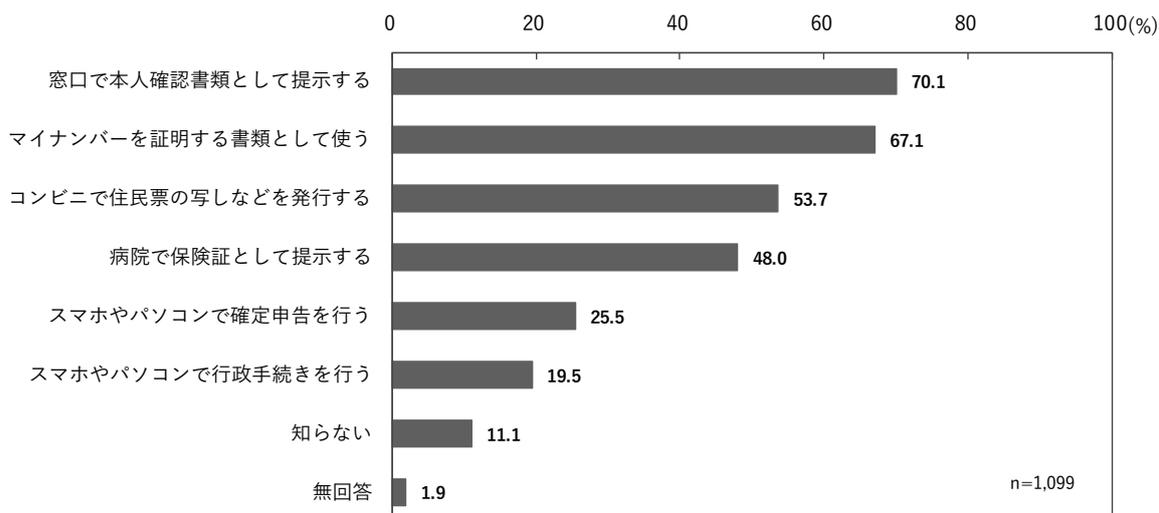


3. マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカードを利用できる場面を知っているか

- ・ 全体結果では、「窓口で本人確認書類として提示する」が70.1%と最も高く、次いで「マイナンバーを証明する書類として使う」(67.1%)、「コンビニで住民票の写しなどを発行する」(53.7%)、「病院で保険証として提示する」(48.0%)、「スマホやパソコンで確定申告を行う」(25.5%)と続いた。

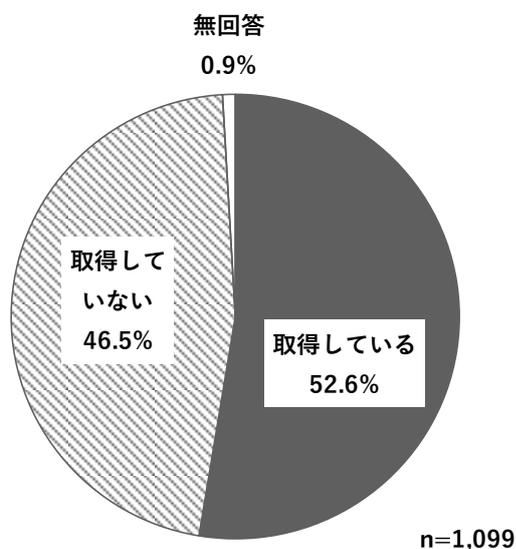
<全体>



(2) マイナンバーカードの取得状況

- ・ 全体結果では、「取得している」が52.6%と5割を超え、「取得していない」が46.5%であった。

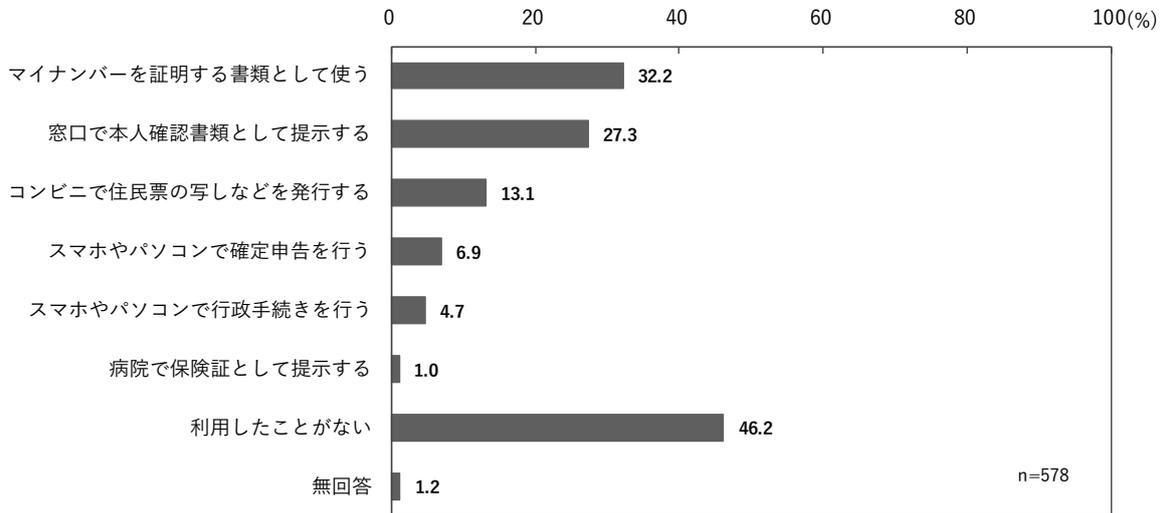
<全体>



(3) マイナンバーカードの利用場面

- ・全体結果では、「利用したことがない」が46.2%と最も高く、次いで「マイナンバーを証明する書類として使う」が32.2%、「窓口で本人確認書類として提示する」が27.3%、「コンビニで住民票の写しなどを発行する」が13.1%と続いた。

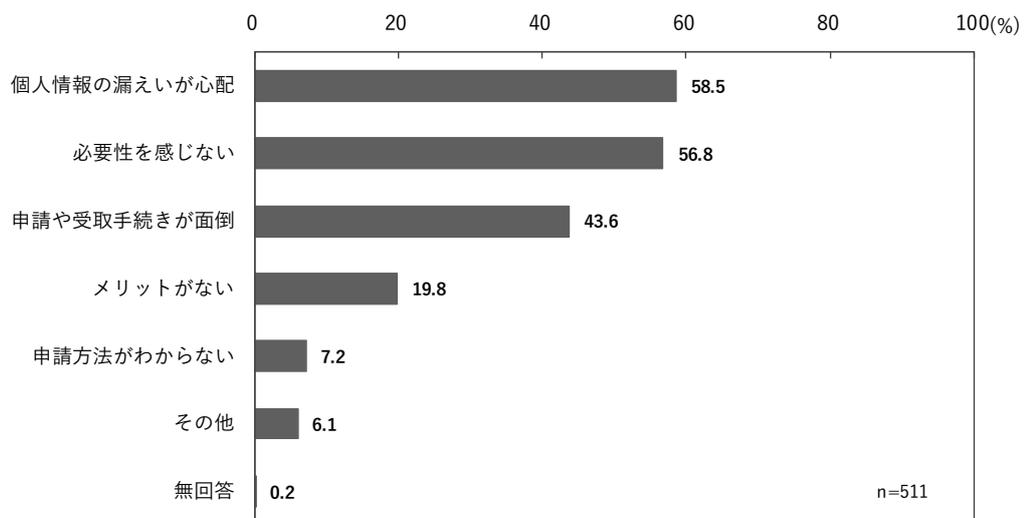
<全体>



(4) マイナンバーカードを取得しない理由

- ・全体結果では、「個人情報の漏えいが心配」が58.5%と最も高く、次いで「必要性を感じない」が56.8%、「申請や受取手続きが面倒」が43.6%、「メリットがない」が19.8%、「申請方法がわからない」が7.2%と続いた。

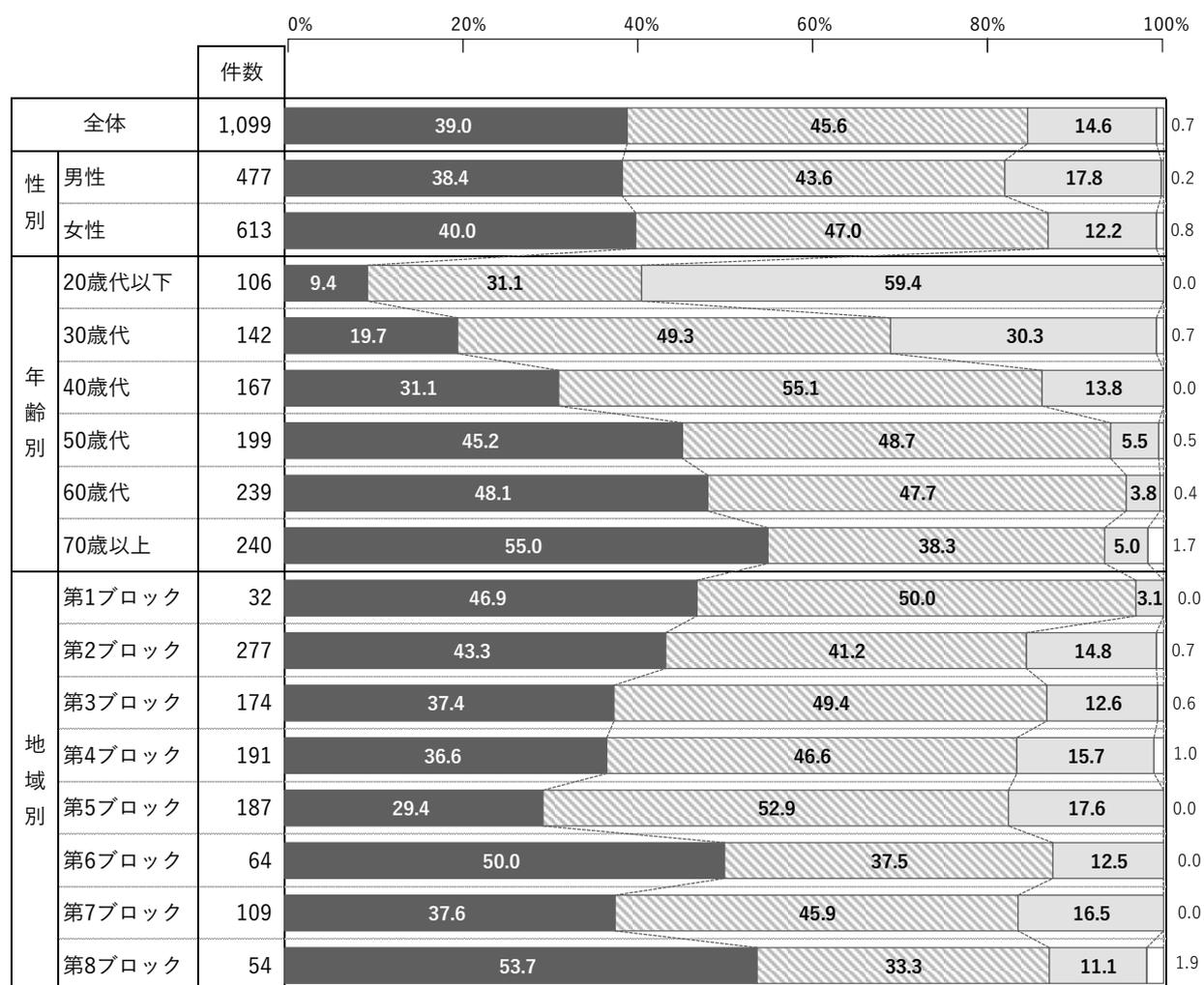
<全体>



4. 民生委員・児童委員について

(1) 「民生委員・児童委員」を知っているか

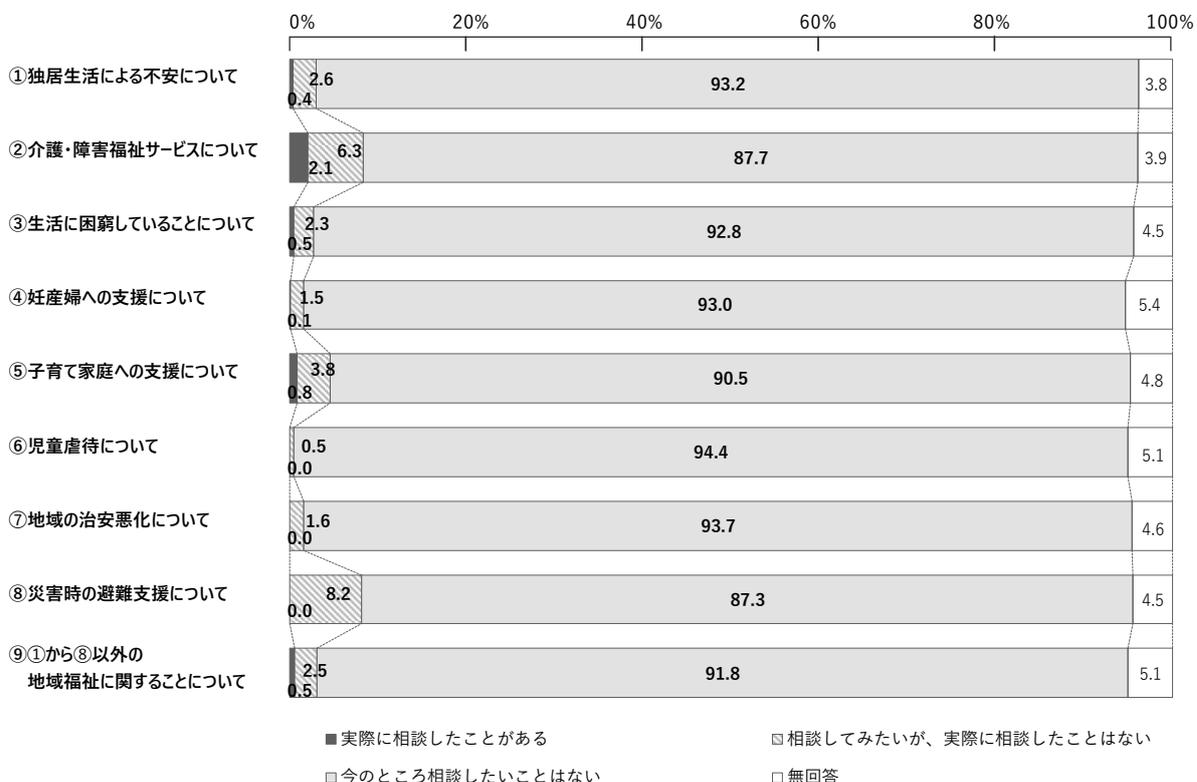
- ・全体結果では、「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が45.6%と最も高く、次いで「知っている」が39.0%、「知らない」が14.6%と続いた。
- ・性別では、男女ともに「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が4割を超えた。
- ・年齢別では、60歳代以上では「知っている」が最も高いが、30歳代から50歳代までは「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」、20歳代以下では「知らない」が最も高く、年齢によって認知度に大きな差が見られた。
- ・地域別では、第2ブロック、第6ブロック、第8ブロックでは「知っている」が最も高く、特に第6ブロックと第8ブロックでは「知っている」が5割以上を占めた。それ以外の地域では「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が最も高く、特に、第1ブロックと第5ブロックは「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が5割以上を占めた。



■ 知っている □ 聞いたことはあるが、内容はよく分からない ▨ 知らない □ 無回答

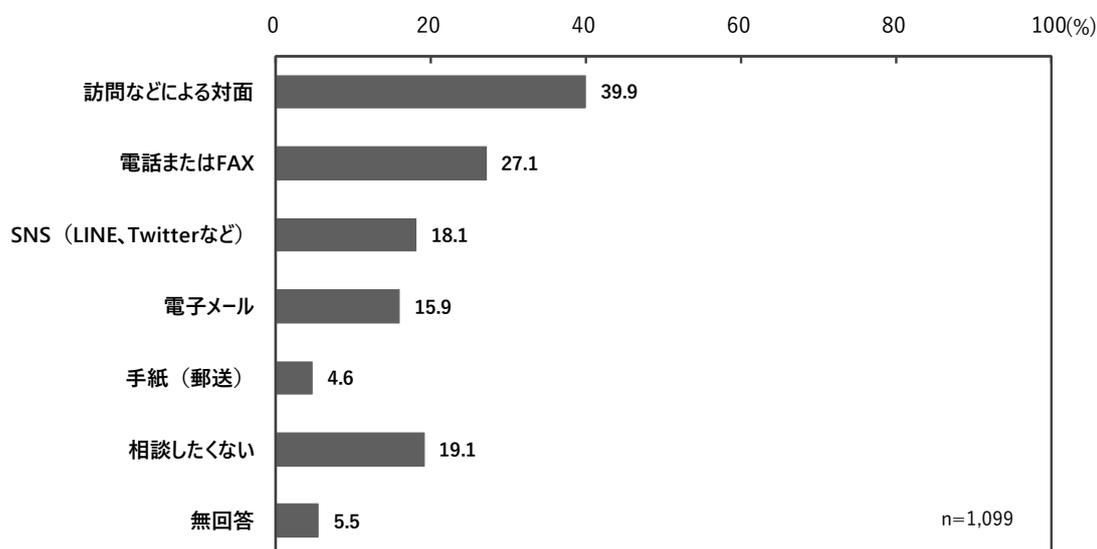
(2) 「民生委員・児童委員」に相談したことがあるか

・いずれの項目についても、「今のところ相談したいことはない」が最も高く、9割程度を占めている。「実際に相談したことがある」については、②介護・障害福祉サービスについてが最も高いが2.1%にとどまり、その他の項目については1%に満たない。「相談してみたいが、実際に相談したことはない」については、⑧災害時の避難支援についてが8.2%と最も高く、次いで②介護・障害福祉サービスについてが6.3%、⑤子育て家庭への支援についてが3.8%と続いた。



(3) 「民生委員・児童委員」に相談する際のやりとりの方法

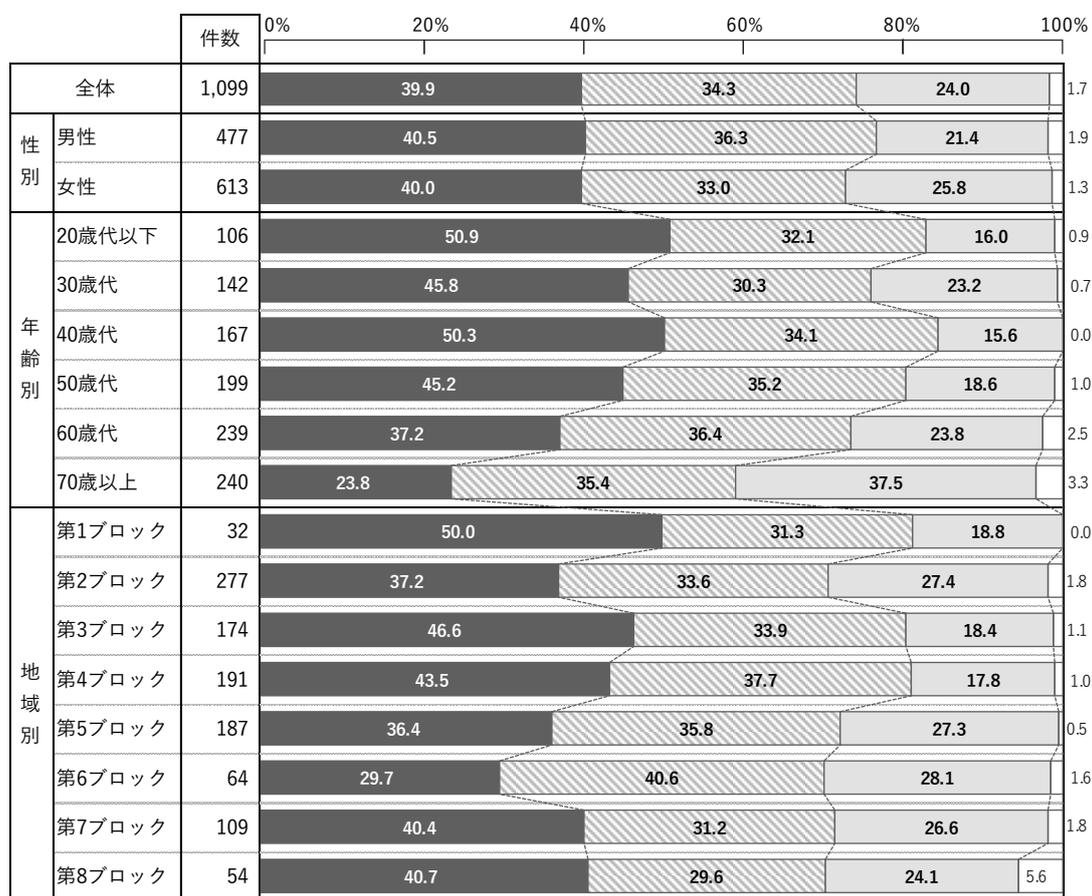
・全体結果では、「訪問などによる対面」が39.9%と最も高く、次いで「電話またはFAX」が27.1%、「相談したくない」が19.1%と続いた。



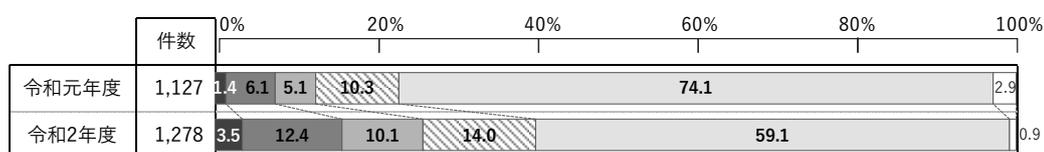
5. SDGs(エスディージーズ)について

(1)SDGsについて知っているか

- ・ 全体結果では、「内容を含め知っている」が39.9%と最も高く、次いで「内容は分からないが、聞いたことがある」が34.3%、「知らない（聞いたこともない）」が24.0%と続いた。
- ・ 性別では、男女とも「内容を含め知っている」が最も高く、4割程度となっている。
- ・ 年齢別では、70歳以上を除く年代で「内容を含め知っている」が最も高く、特に、20歳代以下と40歳代では5割を超えている。一方、70歳以上では「知らない（聞いたこともない）」が37.5%と最も高く、「内容は分からないが、聞いたことがある」が35.4%で続いた。
- ・ 地域別では、第6ブロックを除く地域で「内容を含め知っている」が最も高く、次いで「内容は分からないが、聞いたことがある」と続いた。第6ブロックでは「内容は分からないが、聞いたことがある」が40.6%と最も多くなっている。
- ・ 令和元年度及び令和2年度との比較では、選択肢の設定が異なるため単純比較はできないが、「知らない（聞いたこともない）」の割合は、74.1%（令和元年度）、59.1%（令和2年度）、24.0%（令和3年度）と年々減少しており、「聞いたことがある」も含めて、市民のSDGsに対する認知度は向上していることがうかがえる。



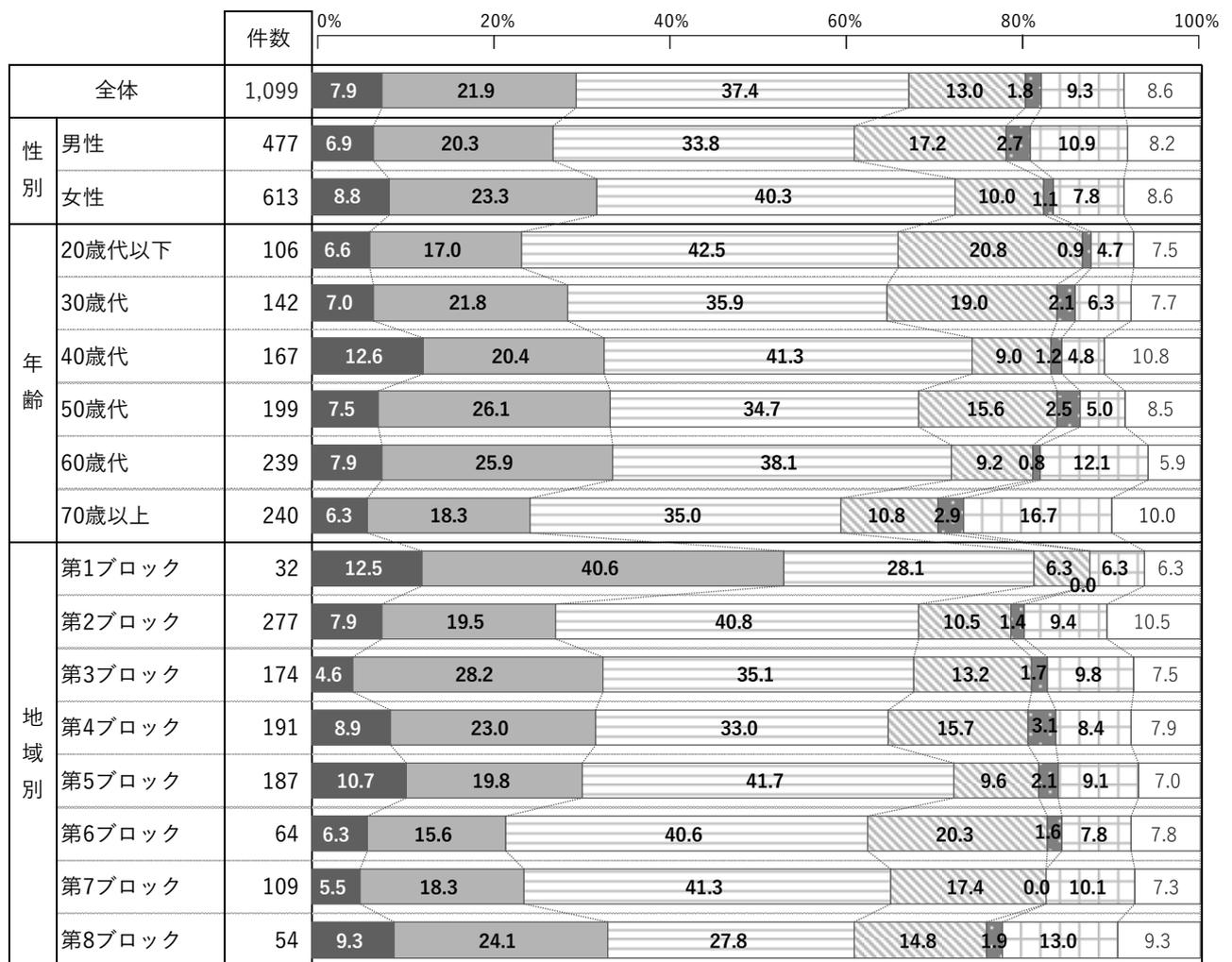
内容を含め知っている
 内容は分からないが、聞いたことがある
 知らない（聞いたこともない）
 無回答



よく知っている
 あまり知らない
 知らない（聞いたこともない）
 聞いたことがある程度
 無回答

(2)SDGs達成に向けた日常の行動について

- ・全体結果では、「行動がわかれば、できることに取り組みたい」が37.4%と最も高く、次いで「すでに行動していて、今後も継続したい」が21.9%、「今後行動するかどうかはどちらともいえない」が13.0%と続いた。
- ・性別では、男女とも「行動がわかれば、できることに取り組みたい」が最も高く、次いで「すでに行動していて、今後も継続したい」「今後行動するかどうかはどちらともいえない」と続いた。
- ・年齢別では、いずれの年代も「行動がわかれば、できることに取り組みたい」が最も高く、3～4割程度となっている
- ・地域別では、第1ブロックを除く地域で「行動がわかれば、できることに取り組みたい」が最も高く、第1ブロックでは「すでに行動していて、今後も継続したい」が40.6%と最も高く、他の地域に比べ20ポイント程度高くなっている。



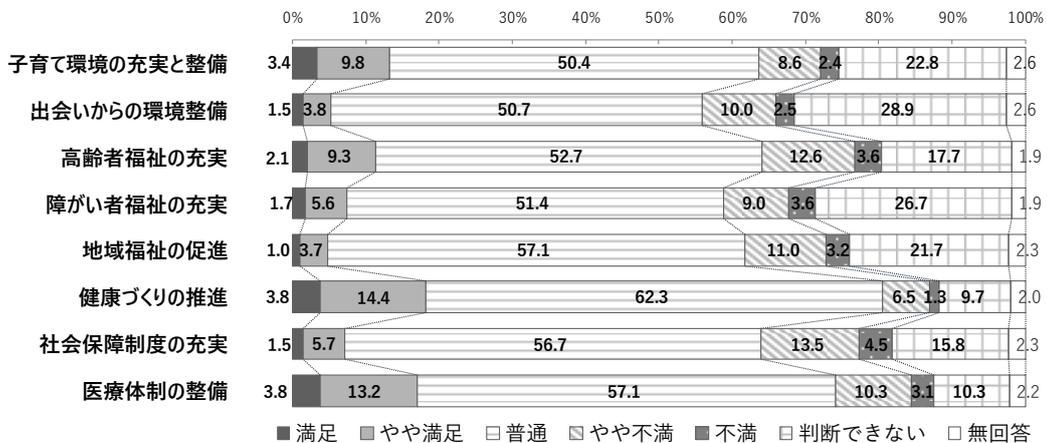
- すでに行動しているが、今後さらに増やしたい
- すでに行動していて、今後も継続したい
- 行動がわかれば、できることに取り組みたい
- 今後行動するかどうかはどちらともいえない
- できることはないので、行動するつもりはない
- SDGsにつながる行動がわからない
- 無回答

6. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について

(1)健康・福祉に関する施策

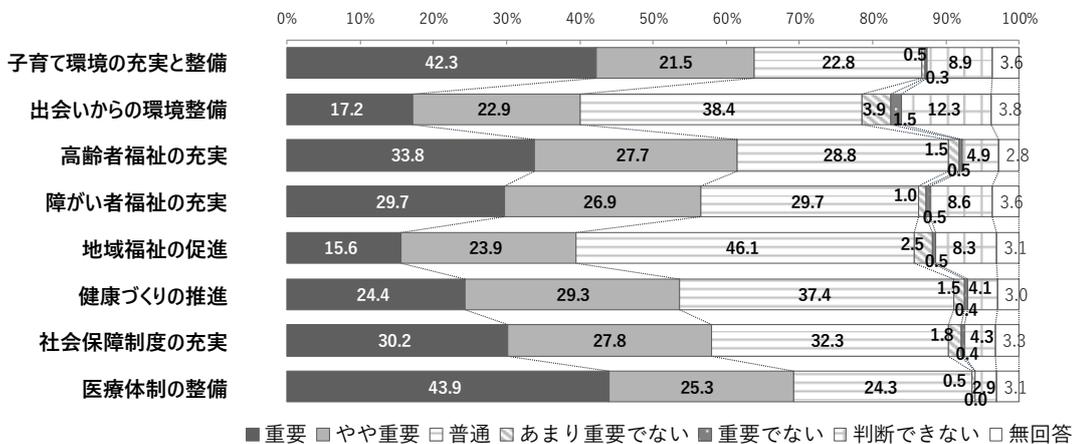
A 満足度

- ・「健康・福祉」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、5割～6割台を占めている。
- ・「判断できない」は「出会いからの環境整備」で28.9%と最も高い。
- ・「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』（以下同じ）の割合が高い上位3施策は「健康づくりの推進」（18.2%）、「医療体制の整備」（17.0%）、「子育て環境の充実と整備」（13.2%）である。
- ・「不満」に「やや不満」を合わせた『不満』（以下同じ）の割合が高い上位3施策は「社会保障制度の充実」（18.0%）、「高齢者福祉の充実」（16.2%）、「地域福祉の促進」（14.2%）である。



B 重要度

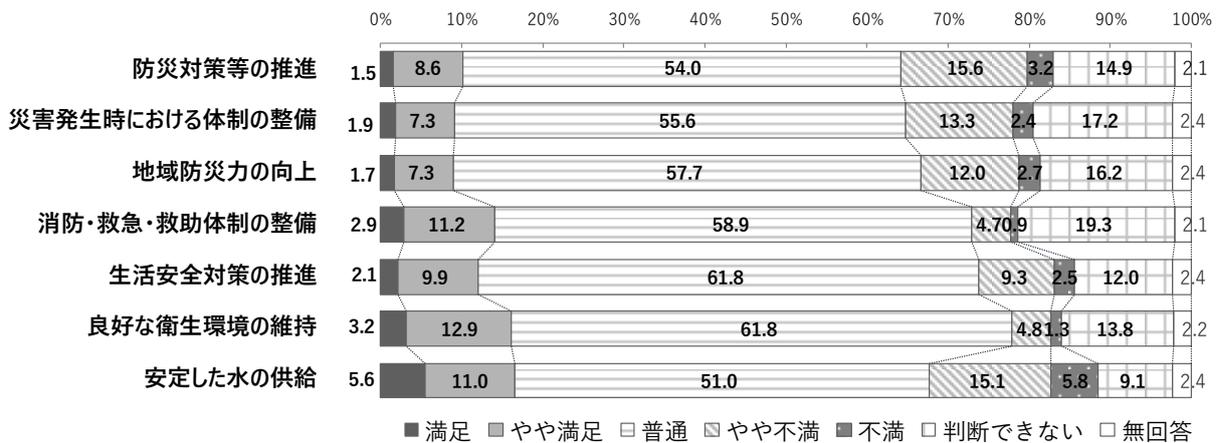
- ・「健康・福祉」に関する施策で、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』（以下同じ）の割合が高い上位3施策は「医療体制の整備」（69.2%）、「子育て環境の充実と整備」（63.8%）、「高齢者福祉の充実」（61.5%）、である。
- ・「出会いからの環境整備」と「地域福祉の促進」は、『重要』が4割程度にとどまっている。



(2)安全・安心に関する施策

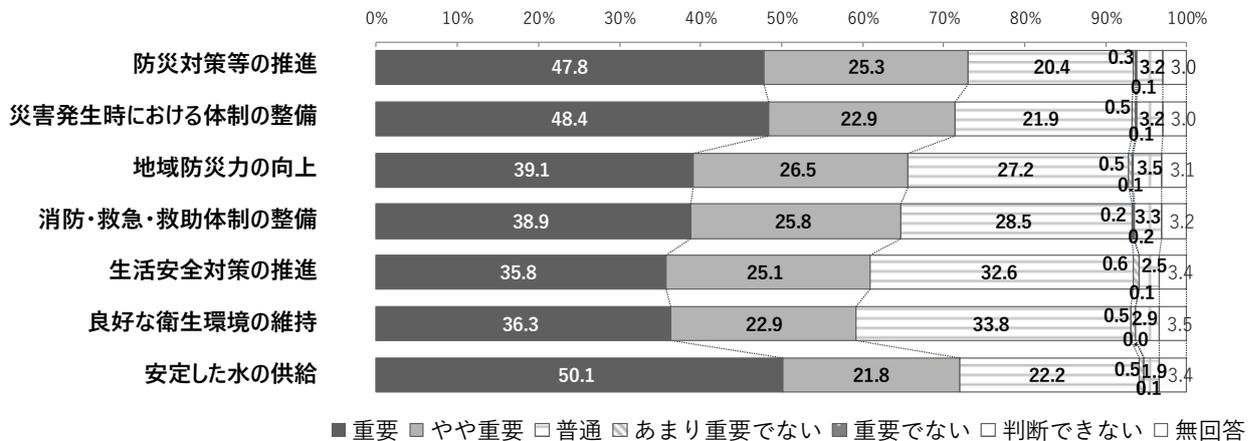
A 満足度

- ・「安全・安心」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、5割～6割台を占めている。
- ・「判断できない」は「消防・救急・救助体制の整備」で19.3%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は「安定した水の供給」(16.6%)、「良好な衛生環境の維持」(16.1%)、「消防・救急・救助体制の整備」(14.1%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は「安定した水の供給」(20.9%)、「防災対策等の推進」(18.8%)、「災害発生時における体制の整備」(15.7%)である。



B 重要度

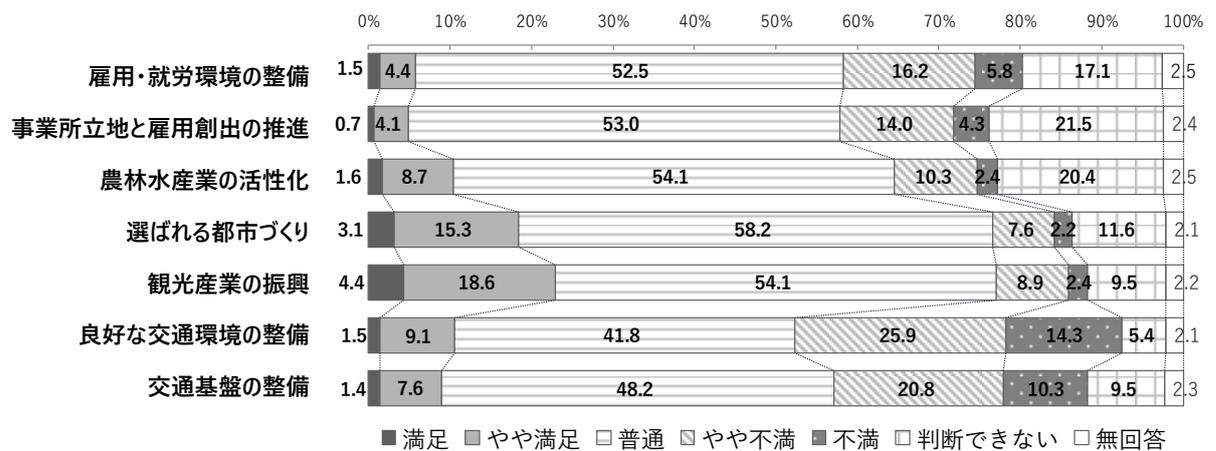
- ・「安全・安心」に関する施策で、『重要』の割合が高い上位3施策は「防災対策等の推進」(73.1%)、「安定した水の供給」(71.9%)、「災害発生時における体制の整備」(71.3%)である。
- ・すべての施策で『重要』の割合が約6割から7割超となっている。



(3)産業・交流に関する施策

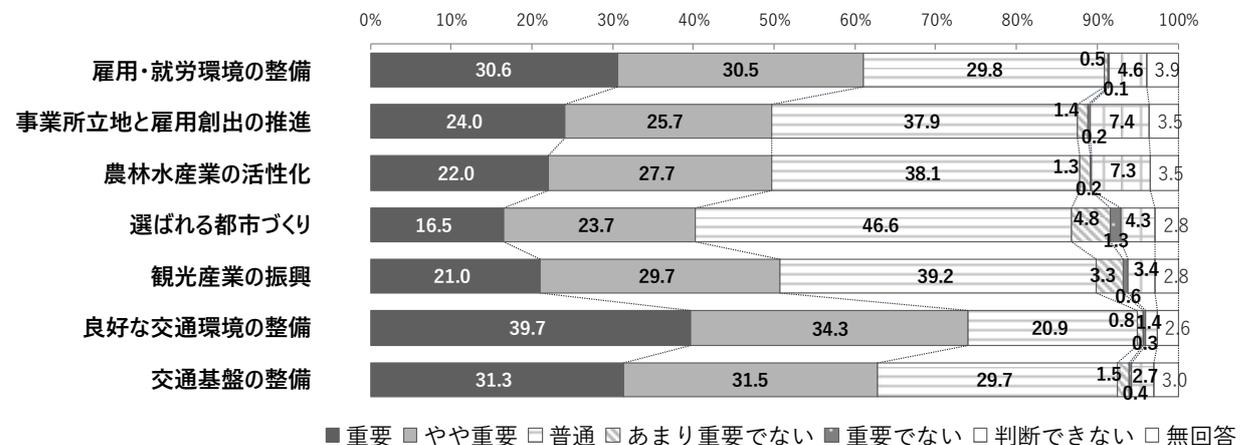
A 満足度

- ・「産業・交流」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、4割～5割台を占めている。
- ・「判断できない」は「事業所立地と雇用創出の推進」で21.5%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は「観光産業の活性化」(23.0%)、「選ばれる都市づくり」(18.4%)、「良好な交通環境の整備」(10.6%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は「良好な交通環境の整備」(40.2%)、「交通基盤の整備」(31.1%)、「雇用・就労環境の整備」(22.0%)である。



B 重要度

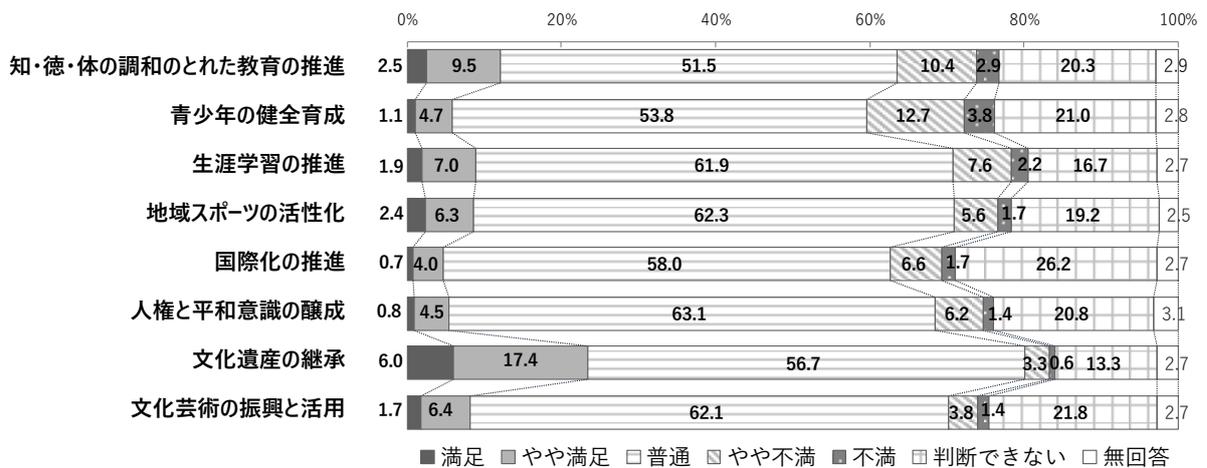
- ・「産業・交流」に関する施策で、『重要』の割合が高い上位3施策は「良好な交通環境の整備」(74.0%)、「交通基盤の整備」(62.8%)、「雇用・就労環境の整備」(61.1%)である。
- ・「選ばれる都市づくり」は『重要』の割合が40.2%で、「事業所立地と雇用創出の推進」と「農林水産業の活性化」も『重要』が5割を下回っている。



(4)教育・文化に関する施策

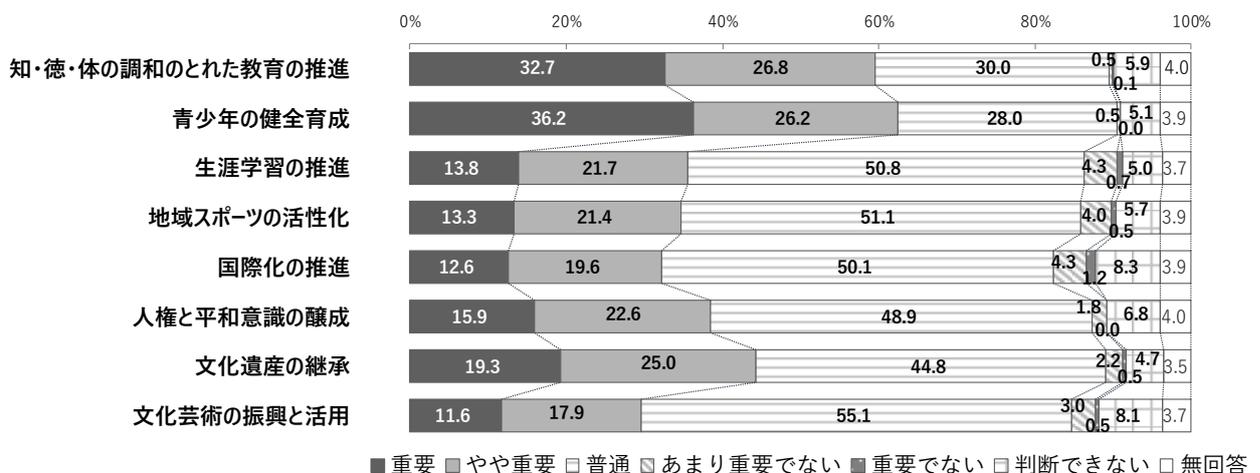
A 満足度

- ・「教育・文化」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、5割～6割台を占めている。
- ・「判断できない」は「国際化の推進」で26.2%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は「文化遺産の継承」(23.4%)、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」(12.0%)、「生涯学習の推進」(8.9%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は「青少年の健全育成」(16.5%)、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」(13.3%)、「生涯学習の推進」(9.8%)である。



B 重要度

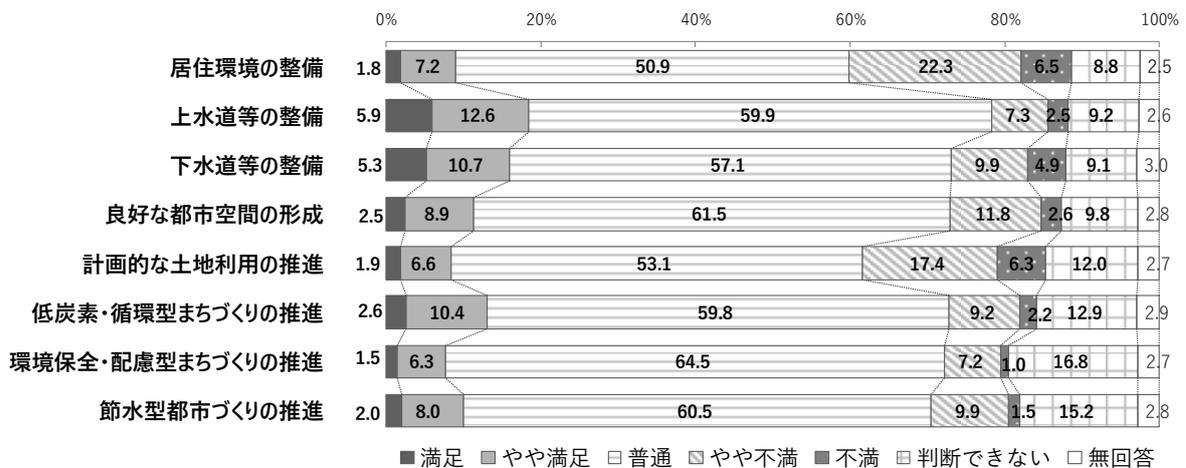
- ・「教育・文化」に関する施策で、『重要』の割合が高い上位3施策は「青少年の健全育成」(62.4%)、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」(59.5%)、「文化遺産の継承」(44.3%)である。
- ・『重要』の割合が高い上位3施策以外は、すべて『重要』が4割を下回っている。



(5)環境・都市に関する施策

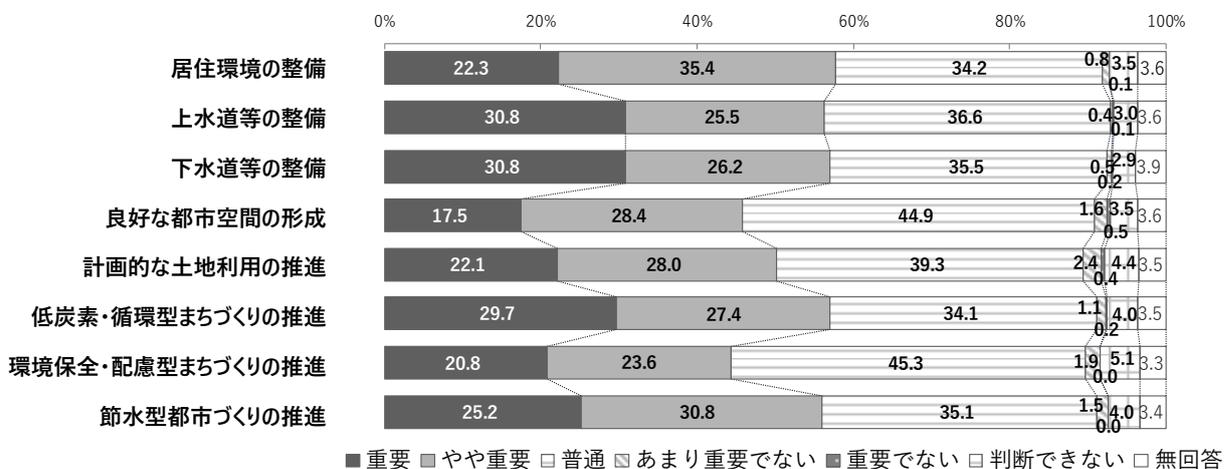
A 満足度

- ・「環境・都市」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、5割～6割台を占めている。
- ・「判断できない」は「環境保全・配慮型まちづくりの推進」で16.8%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は「上水道等の整備」(18.5%)、「下水道等の整備」(16.0%)、「低炭素・循環型まちづくりの推進」(13.0%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は「居住環境の整備」(28.8%)、「計画的な土地利用の推進」(23.7%)、「下水道等の整備」(14.8%)である。



B 重要度

- ・「環境・都市」に関する施策で、『重要』の割合が高い上位3施策は「居住環境の整備」(57.7%)、「低炭素・循環型まちづくりの推進」(57.1%)、「下水道等の整備」(57.0%)である。
- ・「良好な都市空間の形成」と「環境保全・配慮型まちづくりの推進」は、『重要』の割合が5割を下回っている。



(6)自治・行政に関する施策

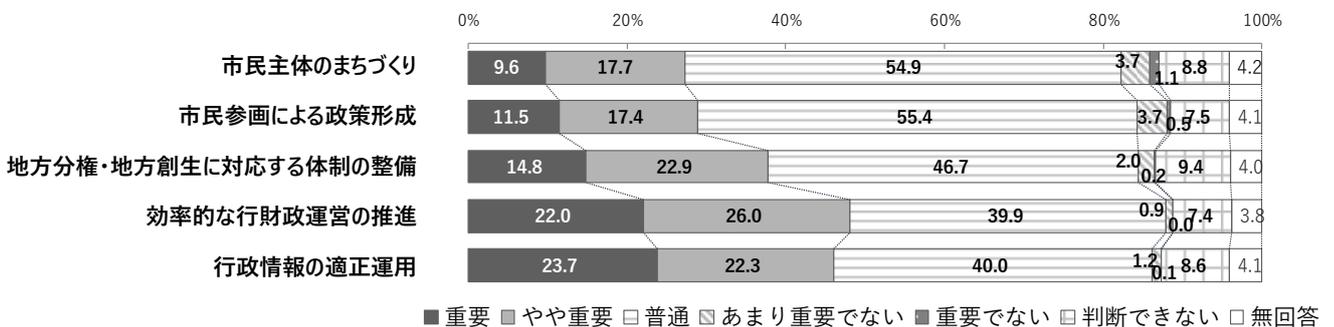
A 満足度

- ・「自治・行政」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、6割程度を占めている。
- ・「判断できない」は「市民主体のまちづくり」で24.6%と最も高い。
- ・『満足』の割合が最も高い施策は「効率的な行財政運営の推進」(6.3%)で、それ以外の施策の『満足』は4~5%台である。
- ・『不満』の割合が最も高い施策も「効率的な行財政運営の推進」(16.2%)であり、それ以外の施策の『不満』は概ね10%程度である。



B 重要度

- ・「自治・行政」に関する施策で、『重要』の割合が高い上位3施策は「効率的な行財政運営の推進」(48.0%)、「行政情報の適正運用」(46.0%)、「地方分権・地方創生に対応する体制の整備」(37.7%)である。
- ・「市民主体のまちづくり」と「市民参画による政策形成」は、『重要』の割合が3割を下回っている。

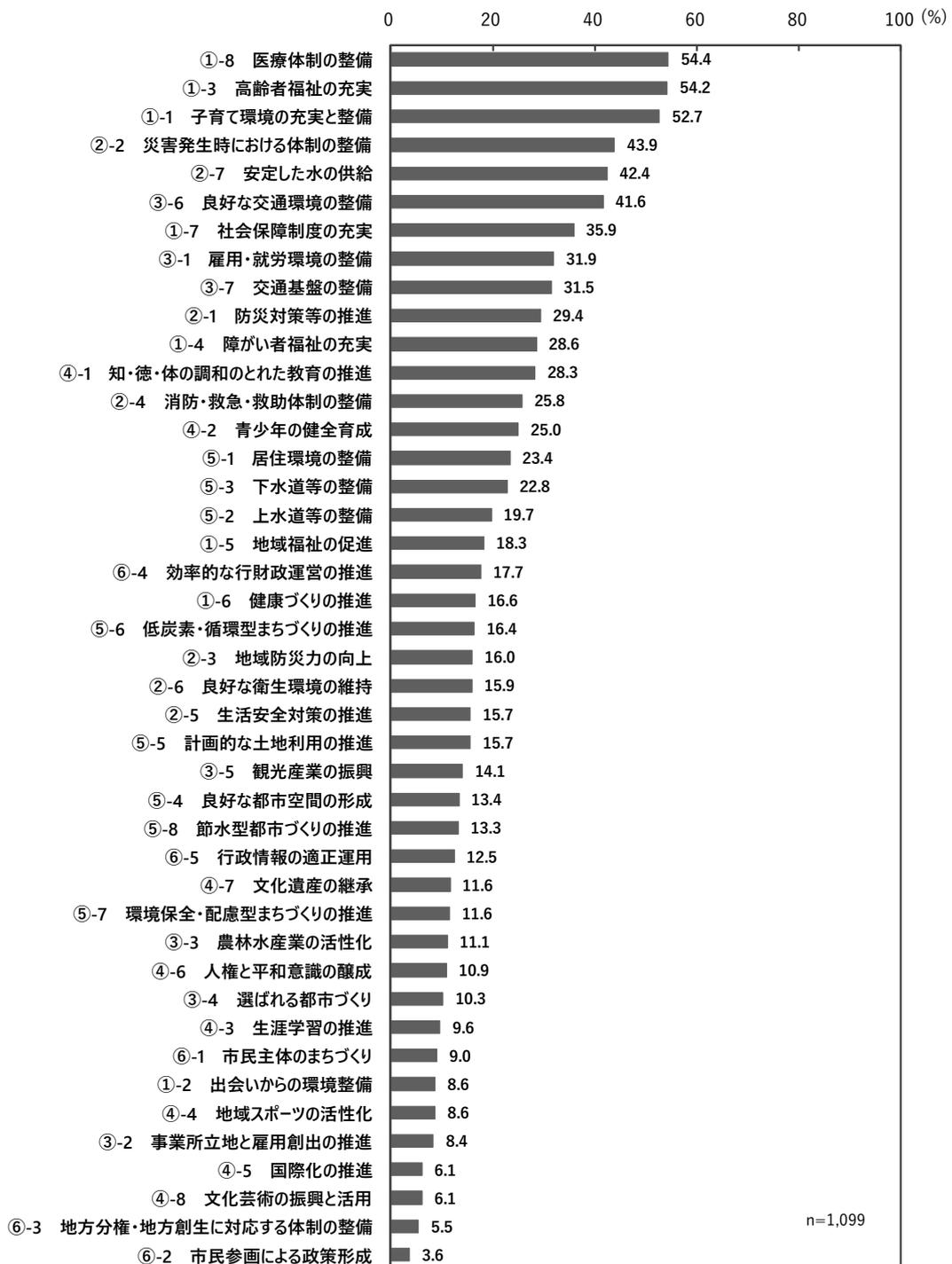


7. 施策の優先度について

(1)優先的に取り組むべき施策

松山市が実施している施策のうち、市民が優先的に取り組むべきだと思う上位10位までの施策は、1位「①-8 医療体制の整備」(54.4%)、2位「①-3 高齢者福祉の充実」(54.2%)、3位「①-1 子育て環境の充実と整備」(52.7%)、4位「②-2災害発生時における体制の整備」(43.9%)、5位「②-7 安定した水の供給」(42.4%)、6位「③-6 良好な交通環境の整備」(41.6%)、7位「①-7 社会保障制度の充実」(35.9%)、8位「③-1 雇用・就労環境の整備」(31.9%)、9位「③-7 交通基盤の整備」(31.5%)、10位「②-1 防災対策等の推進」(29.4%) の順となった。

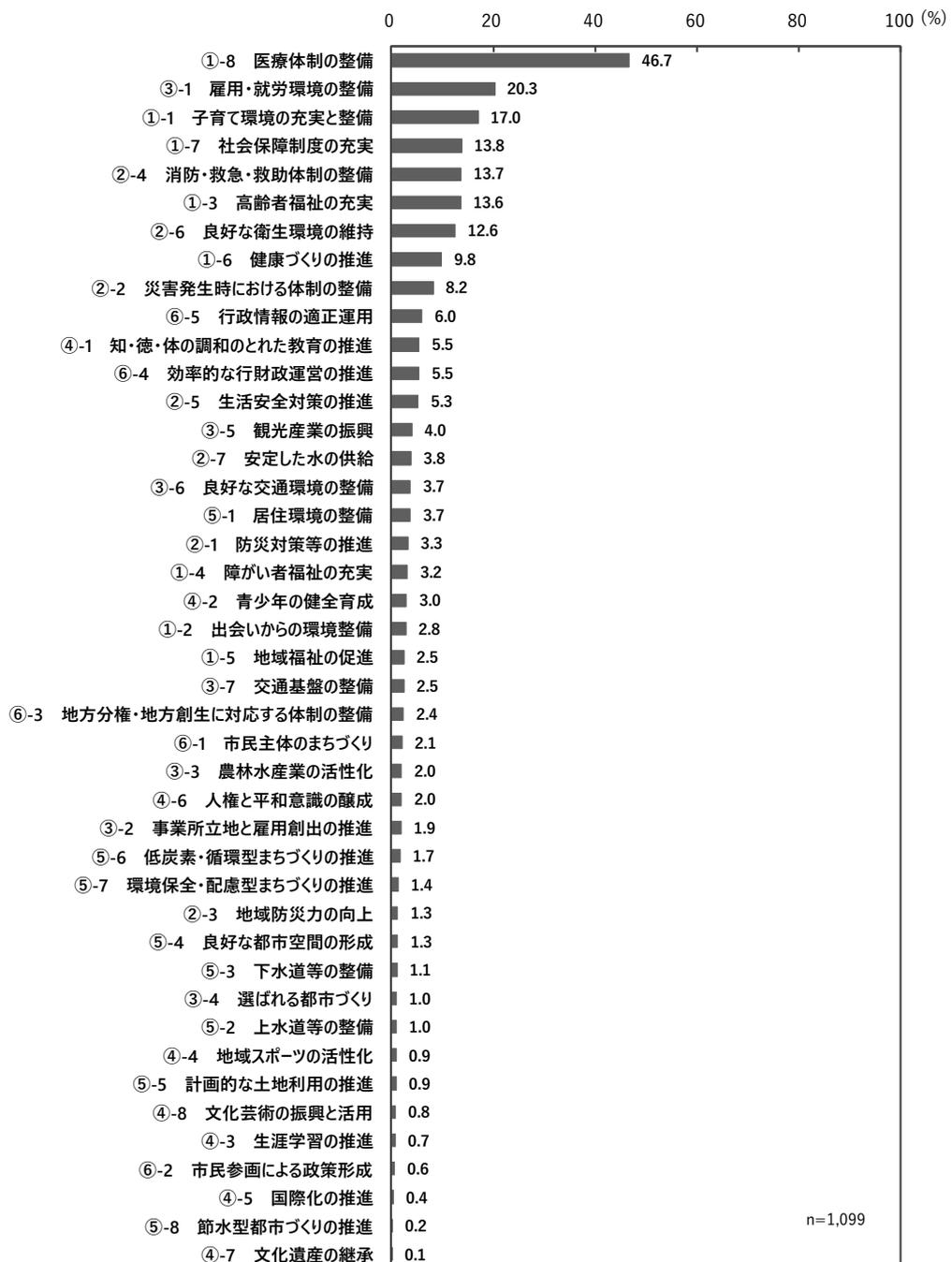
<全体>



(2) コロナ禍で優先度が高まったと思う施策

- ・松山市が実施している施策のうち、市民がコロナ禍をきっかけに、特に優先度が高まったと思う施策を3つまで選択したところ、全体結果では、46.7%と5割近くが「①-8 医療体制の整備」を選択し、突出して優先度が高い。次いで「③-1 雇用・就労環境の整備」が20.3%、以下「①-1 子育て環境の充実と整備」17.0%、「①-7 社会保障制度の充実」13.8%、「②-4 消防・救急・救助体制の整備」13.7%、「①-3 高齢者福祉の充実」13.6%、「②-6 良好な衛生環境の維持」12.6%、「①-6 健康づくりの推進」9.8%、「②-2 災害発生時における体制の整備」8.2%、「⑥-5 行政情報の適正運用」6.0%で上位10位を占めた。
- ・問24の優先的に取り組むべき施策の順位と比較して、コロナ禍で特に優先度の順位が高まった主なものは、「③-1 雇用・就労環境の整備」「①-7 社会保障制度の充実」「②-4 消防・救急・救助体制の整備」「②-6 良好な衛生環境の維持」「①-6 健康づくりの推進」「⑥-5 行政情報の適正運用」などである。

<全体>



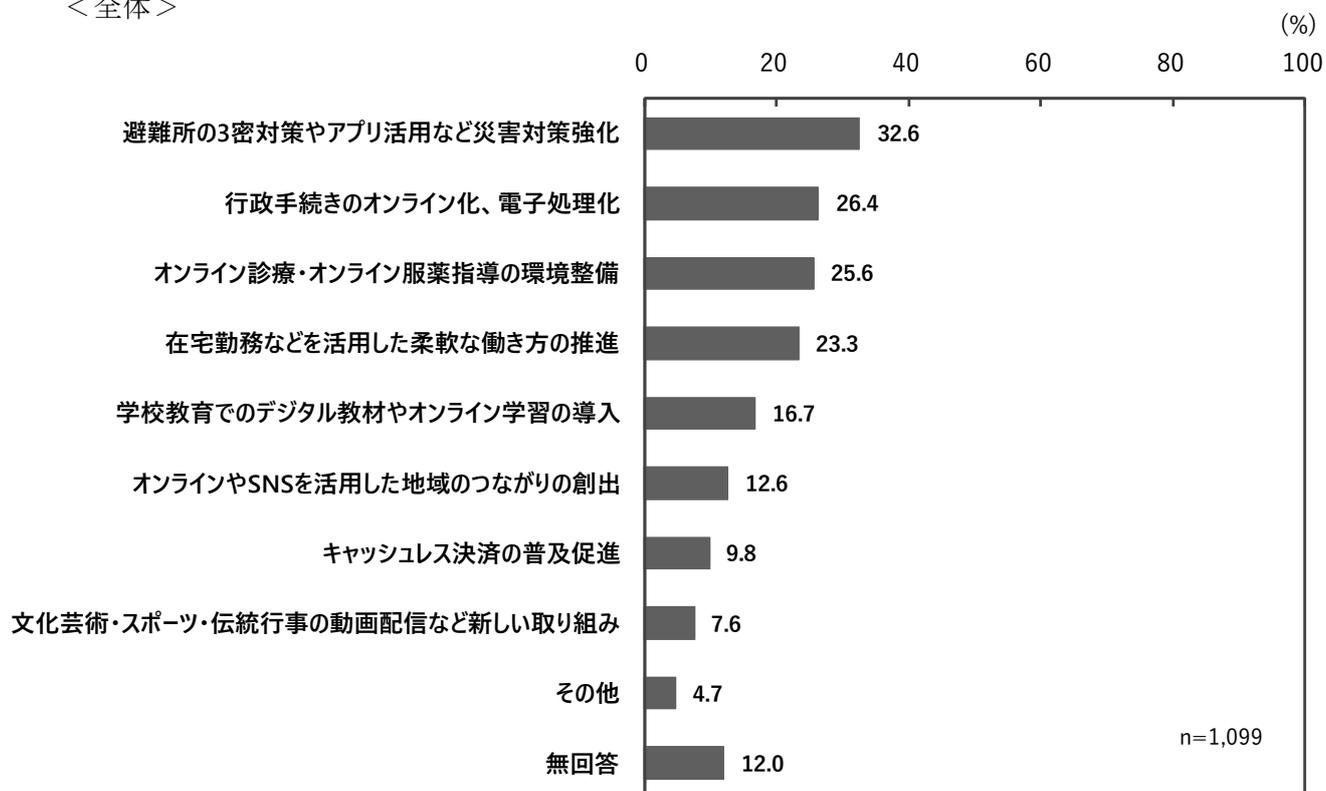
<問 24 の順位との比較（上位 20 施策）>

問 25 コロナ禍で特に優先度が高まった施策 (太字は問 24 の優先度より順位が上がった施策)	問 24 での優先度 順位		問 25 での優先度 順位
①-8 医療体制の整備	1 位	→	1 位
③-1 雇用・就労環境の整備	8 位	↗	2 位
①-1 子育て環境の充実と整備	3 位	→	3 位
①-7 社会保障制度の充実	7 位	↗	4 位
②-4 消防・救急・救助体制の整備	13 位	↗	5 位
①-3 高齢者福祉の充実	2 位	↘	6 位
②-6 良好な衛生環境の維持	23 位	↗	7 位
①-6 健康づくりの推進	20 位	↗	8 位
②-2 災害発生時における体制の整備	4 位	↘	9 位
⑥-5 行政情報の適正運用	29 位	↗	10 位
④-1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	12 位	↗	11 位
⑥-4 効率的な行財政運営の推進	19 位	↗	12 位
②-5 生活安全対策の推進	24 位	↗	13 位
③-5 観光産業の振興	26 位	↗	14 位
②-7 安定した水の供給	5 位	↘	15 位
③-6 良好な交通環境の整備	6 位	↘	16 位
⑤-1 居住環境の整備	15 位	↘	17 位
②-1 防災対策等の推進	10 位	↘	18 位
①-4 障がい者福祉の充実	11 位	↘	19 位
④-2 青少年の健全育成	14 位	↘	20 位

8. コロナ後を見据えた取り組みについて

- ・全体結果では、「避難所の3密対策やアプリ活用など災害対策強化」が32.6%と最も高く、次いで「行政手続きのオンライン化、電子処理化」26.4%、「オンライン診療・オンライン服薬指導の環境整備」25.6%、「在宅勤務などを活用した柔軟な働き方の推進」23.3%と続いた。

<全体>



Ⅲ 調査分析

1. 満足度・重要度

本章では、第6次松山市総合計画の施策ごとの満足度・重要度について、回答選択肢1（「不満」、「重要でない」）から回答選択肢5（「満足」、「重要」）まで、それぞれ1点から5点を与え、加重平均を算出した。なお、回答選択肢0「判断できない」と「無回答」のサンプルは、集計対象から除外している。また、得点については、小数点第3位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合がある。平均得点と得点差は、小数点第3位を四捨五入した値を基に分析している。

<満足度>

全項目の平均得点は2.95で、普通（3.00）を下回るマイナス評価となった。
全項目の平均得点は、平成30年度調査の2.90から上昇傾向にある。
分野ごとの平均では、【教育・文化】が高く、【産業・交流】が低い。

満足度平均得点（分野別）

	R3	R2	R1	H30
全項目平均得点	2.95	2.92	2.91	2.90
①【健康・福祉】	2.95	2.93	2.92	2.89
②【安全・安心】	2.99	2.95	2.92	2.89
③【産業・交流】	2.85	2.83	2.83	2.82
④【教育・文化】	3.01	2.98	3.00	2.98
⑤【環境・都市】	2.95	2.90	2.88	2.90
⑥【自治・行政】	2.91	2.92	2.91	2.93

- ・分野ごとの平均得点をみると、普通（3.00）を上回った分野は④【教育・文化】のみであった。以下、平均得点が高い順に②【安全・安心】、⑤【環境・都市】、①【健康・福祉】、⑥【自治・行政】、③【産業・交流】となった。

<満足度・施策別>

- ・43の施策ごとの得点をみると、普通（3.00）以上となったのは上位15項目で、その他の28項目は、3.00未満のマイナス評価となった。
- ・満足度の高い施策は、上位から、1位「④-7 文化遺産の継承」、2位「③-5 観光産業の振興」、3位「①-6 健康づくりの推進」、4位「②-6 良好な衛生環境の維持」、5位「⑤-2 上水道等の整備」となった。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策が求められる中、3位「①-6 健康づくりの推進」、4位「②-6 良好な衛生環境の維持」のほか、「②-4 消防・救急・救助体制の整備」（6位）や「①-8 医療体制の整備」（8位）といった市民の健康や公衆衛生に関わる施策の得点・順位が、平成30年度から令和2年度までの調査よりおおむね上がっている。
- ・満足度の低い施策は、下位から、43位「③-6 良好な交通環境の整備」、42位「③-7 交通基盤の整備」、41位「⑤-1 居住環境の整備」、40位「③-1 雇用・就労環境の整備」、39位「⑤-5 計画的な土地利用の推進」となった。下位5位の施策は③【産業・交流】、⑤【環境・都市】の2分野に集中している。

<重要度>

全項目で得点が普通（3.00）を上回り、すべての施策が重要視されている。
全項目の平均得点は、平成30年度と令和元年度調査の3.77から上昇傾向にある。
分野ごとの平均では、【安全・安心】が高く、【自治・行政】が低い。

重要度平均得点（分野別）

	R3	R2	R1	H30
全項目平均得点	3.84	3.80	3.77	3.77
①【健康・福祉】	3.91	3.90	3.88	3.82
②【安全・安心】	4.15	4.12	4.16	4.09
③【産業・交流】	3.85	3.80	3.79	3.83
④【教育・文化】	3.64	3.60	3.60	3.60
⑤【環境・都市】	3.82	3.79	3.77	3.75
⑥【自治・行政】	3.58	3.49	3.48	3.51

- ・すべての分野が普通（3.00）を上回り、また令和2年度の平均得点を上回る。
- ・分野別で最も平均得点が高いのは②【安全・安心】で、以下、重要度が高い順に①【健康・福祉】、③【産業・交流】、⑤【環境・都市】、④【教育・文化】、⑥【自治・行政】となった。

<重要度・施策別>

- ・特に重要度の高い施策は、上位から、1位「②-1 防災対策等の推進」、2位「②-7 安定した水の供給」、3位「②-2 災害発生時における体制の整備」、4位「①-1 子育て環境の充実と整備」、5位「①-8 医療体制の整備」となった。
- ・1位「②-1 防災対策等の推進」、3位「②-2 災害発生時における体制の整備」のほか、「②-3 地域防災力の向上」（7位）、「②-4 消防・救急・救助体制の整備」（8位）なども上位となっており、近年、大規模な自然災害が頻発していることも影響していると考えられる。

施策別満足度・重要度一覧表（分野別平均）

大項目	施策名	満足度								重要度							
		R3年度		R2年度		R1年度		H30年度		R3年度		R2年度		R1年度		H30年度	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
①【健康・福祉】	1 子育て環境の充実と整備	9	3.04	10	3.00	8	3.05	25	2.89	4	4.20	5	4.20	4	4.20	4	4.14
	2 出会いからの環境整備	32	2.88	35	2.84	29	2.85	31	2.82	33	3.60	32	3.64	30	3.64	33	3.55
	3 高齢者福祉の充実	26	2.92	30	2.89	32	2.84	29	2.84	13	4.00	11	4.00	10	4.01	15	3.88
	4 障がい者福祉の充実	30	2.90	32	2.87	31	2.84	28	2.84	16	3.96	15	3.95	15	3.90	17	3.85
	5 地域福祉の促進	34	2.85	28	2.89	26	2.87	26	2.88	35	3.58	34	3.56	33	3.56	35	3.50
	6 健康づくりの推進	3	3.15	6	3.07	4	3.09	5	3.09	23	3.82	24	3.76	23	3.78	28	3.72
	7 社会保障制度の充実	35	2.83	36	2.83	36	2.78	35	2.76	19	3.93	20	3.85	20	3.85	21	3.82
	8 医療体制の整備	8	3.05	9	3.03	9	3.04	10	3.01	5	4.20	4	4.21	7	4.11	6	4.09
	①【健康・福祉】平均		2.95		2.93		2.92		2.89		3.91		3.90		3.88		3.82
②【安全・安心】	1 防災対策等の推進	33	2.88	33	2.84	37	2.77	40	2.69	1	4.28	3	4.22	3	4.29	1	4.26
	2 災害発生時における体制の整備	28	2.91	29	2.89	35	2.82	37	2.76	3	4.27	2	4.25	2	4.30	2	4.26
	3 地域防災力の向上	27	2.92	22	2.93	28	2.86	30	2.83	7	4.12	8	4.04	5	4.14	8	4.07
	4 消防・救急・救助体制の整備	6	3.13	5	3.07	7	3.07	7	3.06	8	4.10	7	4.07	6	4.12	9	4.06
	5 生活安全対策の推進	15	3.00	12	2.98	11	2.99	15	2.97	10	4.02	14	3.96	11	3.98	11	3.92
	6 良好な衛生環境の維持	4	3.14	7	3.07	6	3.07	4	3.09	12	4.01	12	3.99	12	3.97	18	3.84
	7 安定した水の供給	23	2.95	31	2.87	34	2.82	32	2.81	2	4.28	1	4.30	1	4.31	3	4.24
	②【安全・安心】平均		2.99		2.95		2.92		2.89		4.15		4.12		4.16		4.09
③【産業・交流】	1 雇用・就労環境の整備	40	2.74	41	2.67	39	2.69	39	2.69	14	4.00	13	3.97	16	3.90	13	3.90
	2 事業所立地と雇用創出の推進	38	2.78	38	2.72	38	2.75	36	2.76	24	3.81	23	3.76	26	3.69	26	3.73
	3 農林水産業の活性化	22	2.96	16	2.96	33	2.84	34	2.77	25	3.78	26	3.72	24	3.76	20	3.82
	4 選ばれる都市づくり	7	3.11	3	3.12	3	3.12	3	3.11	37	3.53	36	3.47	35	3.51	31	3.59
	5 観光産業の振興	2	3.15	2	3.21	2	3.25	2	3.25	29	3.72	28	3.69	27	3.69	24	3.78
	6 良好な交通環境の整備	43	2.54	43	2.51	43	2.53	43	2.53	6	4.17	6	4.11	8	4.10	7	4.07
	7 交通基盤の整備	42	2.65	42	2.64	41	2.67	41	2.65	15	3.97	18	3.90	14	3.91	12	3.91
	③【産業・交流】平均		2.85		2.83		2.83		2.82		3.85		3.80		3.79		3.83
④【教育・文化】	1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	18	2.98	25	2.92	13	2.98	20	2.93	11	4.02	9	4.02	13	3.92	10	3.96
	2 青少年の健全育成	37	2.82	37	2.81	30	2.84	33	2.77	9	4.08	10	4.02	9	4.01	5	4.10
	3 生涯学習の推進	17	2.99	20	2.95	18	2.95	13	2.97	38	3.48	39	3.42	38	3.44	39	3.41
	4 地域スポーツの活性化	12	3.02	13	2.97	12	2.99	16	2.97	39	3.47	40	3.42	39	3.41	38	3.43
	5 国際化の推進	25	2.93	24	2.92	19	2.94	22	2.92	40	3.44	38	3.43	41	3.35	40	3.38
	6 人権と平和意識の醸成	20	2.96	14	2.97	14	2.97	17	2.96	34	3.59	35	3.50	37	3.48	37	3.46
	7 文化遺産の継承	1	3.30	1	3.25	1	3.26	1	3.27	31	3.66	30	3.66	29	3.68	29	3.67
	8 文化芸術の振興と活用	10	3.04	8	3.04	10	3.04	8	3.05	41	3.42	41	3.36	40	3.37	42	3.35
④【教育・文化】平均		3.01		2.98		3.00		2.98		3.64		3.60		3.60		3.60	
⑤【環境・都市】	1 居住環境の整備	41	2.72	39	2.69	40	2.67	38	2.72	22	3.85	21	3.83	22	3.81	22	3.80
	2 上水道等の整備	5	3.14	4	3.08	5	3.08	6	3.07	18	3.93	16	3.94	17	3.88	14	3.88
	3 下水道等の整備	13	3.02	19	2.95	21	2.93	18	2.94	17	3.93	17	3.93	18	3.88	16	3.86
	4 良好な都市空間の形成	21	2.96	27	2.89	24	2.90	23	2.91	32	3.65	33	3.60	34	3.56	34	3.55
	5 計画的な土地利用の推進	39	2.77	40	2.69	42	2.66	42	2.64	28	3.75	27	3.70	25	3.72	23	3.78
	6 低炭素・循環型まちづくりの推進	11	3.02	11	3.00	17	2.96	9	3.03	20	3.92	22	3.82	21	3.84	27	3.73
	7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	14	3.00	17	2.96	15	2.96	11	2.98	30	3.69	31	3.65	32	3.63	32	3.58
	8 節水型都市づくりの推進	16	2.99	23	2.92	23	2.91	21	2.92	21	3.86	19	3.86	19	3.87	19	3.82
⑤【環境・都市】平均		2.95		2.90		2.88		2.90		3.82		3.79		3.77		3.75	
⑥【自治・行政】	1 市民主体のまちづくり	19	2.97	18	2.96	16	2.96	14	2.97	43	3.36	43	3.29	43	3.28	43	3.34
	2 市民参画による政策形成	24	2.93	15	2.96	20	2.93	12	2.98	42	3.40	42	3.30	42	3.31	41	3.35
	3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	31	2.90	21	2.93	25	2.88	24	2.91	36	3.58	37	3.45	36	3.50	36	3.50
	4 効率的な行政運営の推進	36	2.82	34	2.84	27	2.87	27	2.88	27	3.78	25	3.73	28	3.69	25	3.73
	5 行政情報の適正運用	29	2.91	26	2.90	22	2.92	19	2.93	26	3.78	29	3.69	31	3.63	30	3.63
⑥【自治・行政】平均		2.91		2.92		2.91		2.93		3.58		3.49		3.48		3.51	
全体平均		2.95		2.92		2.91		2.90		3.84		3.80		3.77		3.77	

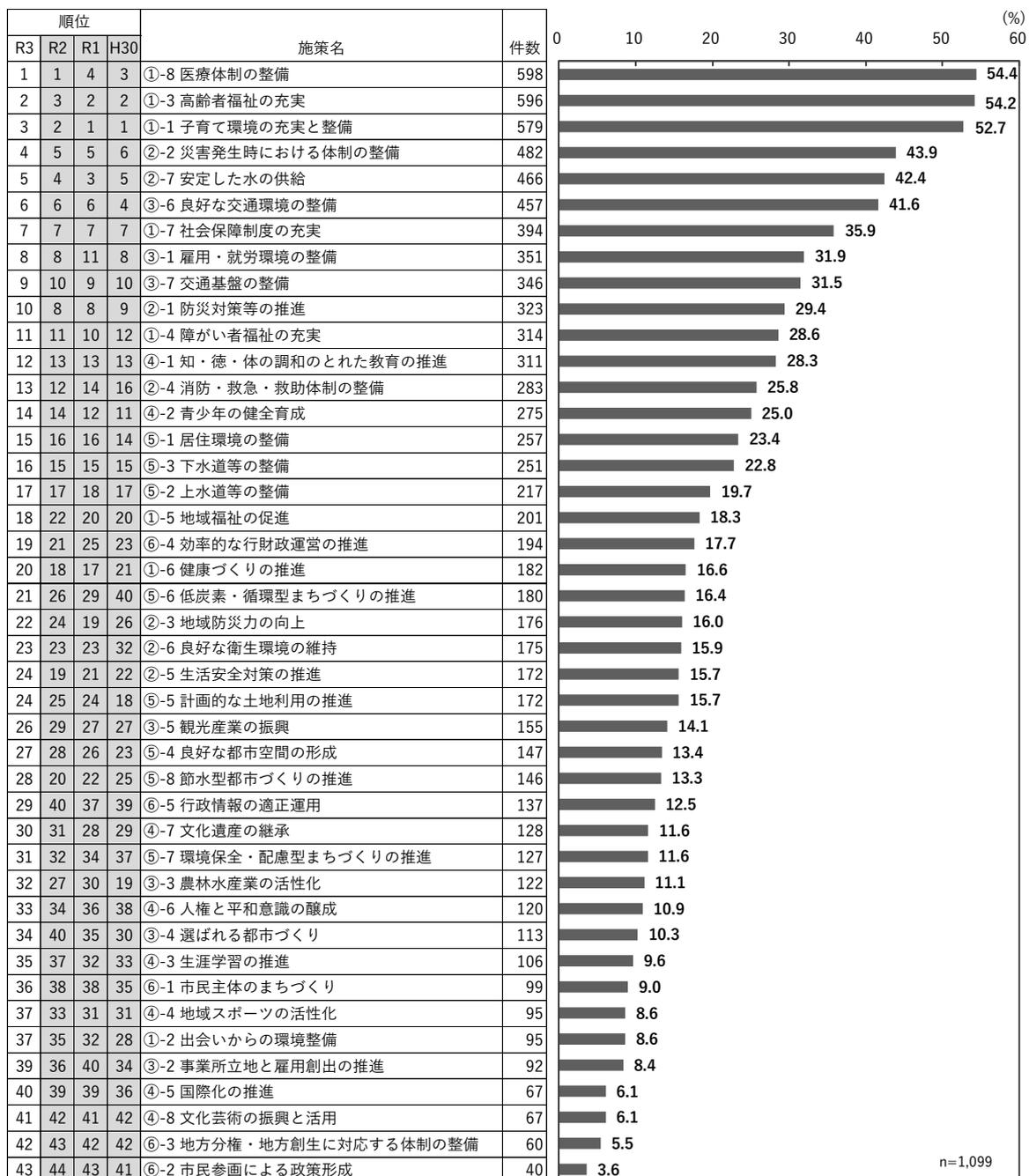
2. 施策の優先度について

43の施策から、優先的に取り組むべきだと思うものを10個まで選択してもらったところ、優先度が高い上位10位は、「①-8 医療体制の整備」「①-3 高齢者福祉の充実」「①-1 子育て環境の充実と整備」「②-2 災害発生時における体制の整備」「②-7安定した水の供給」「③-6 良好な交通環境の整備」「①-7 社会保障制度の充実」「③-1雇用・就労環境の整備」「③-7交通基盤の整備」「②-1 防災対策等の推進」となった。

上位10位までの施策について、平成30年度からの動きをみると、順位に若干の変化はあるものの、ほぼ同じ項目が選ばれている。

(令和元年度は、「①-4 障がい者福祉の充実」が10位、「③-1 雇用・就労環境の整備」が11位となっている)

施策の優先度ランキング

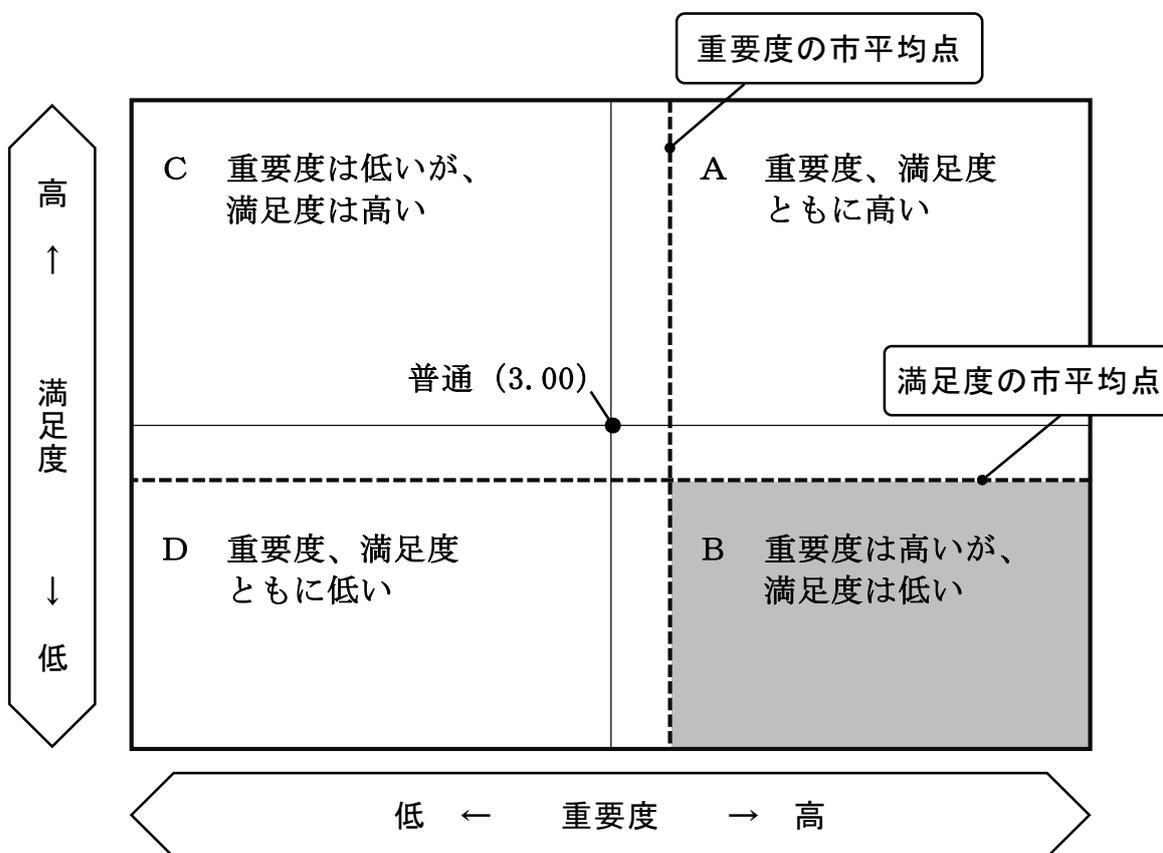


3. 満足度、重要度及び優先度の関係

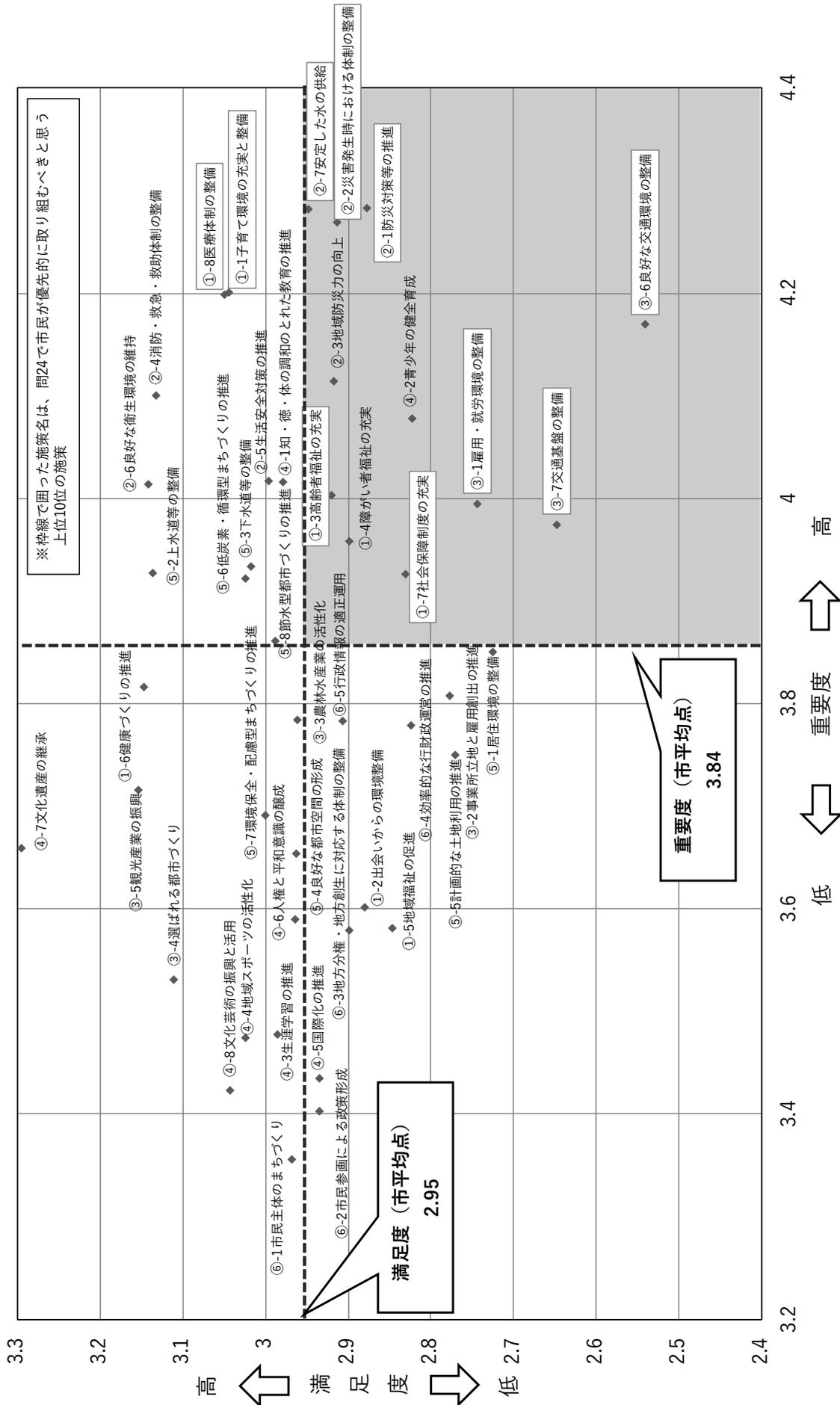
第6次松山市総合計画43施策ごとの満足度と重要度の評価は、下図の通り、「普通」(3.00)を基準に、「A：重要度、満足度ともに高い」「B：重要度は高いが満足度は低い」「C：重要度は低い
が、満足度は高い」「D：重要度、満足度ともに低い」に整理できる。

市民は、この結果のうち、特に「B：重要度は高いが、満足度は低い」の領域に属し、かつ優先度ランキングの上位の位置する施策を、これまでの市の取り組み状況から重要と判断しながらも、現状に対する満足度が低く、今後優先的に取り組むべき施策ととらえていると考えられる。

こうした施策に該当する、重要度が平均点(3.84)以上かつ満足度が平均点(2.95)以下の施策としては、「②-1 防災対策等の推進」「②-7 安定した水の供給」「②-2 災害発生時における体制の整備」「③-6 良好な交通環境の整備」「③-1 雇用・就労環境の整備」「③-7 交通基盤の整備」「①-7 社会保障制度の充実」「①-3 高齢者福祉の充実」などが挙げられる。



市民意識調査での各施策の満足度・重要度の分布と市民優先度の関係



令和3年度 松山市 市民意識調査 報告書（概要版）

発行 令和4年3月

編集 松山市総合政策部企画戦略課

所在地 〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

電話 (089)948-6213 F A X (089)934-1804

電子メール kikaku@city.matsuyama.ehime.jp